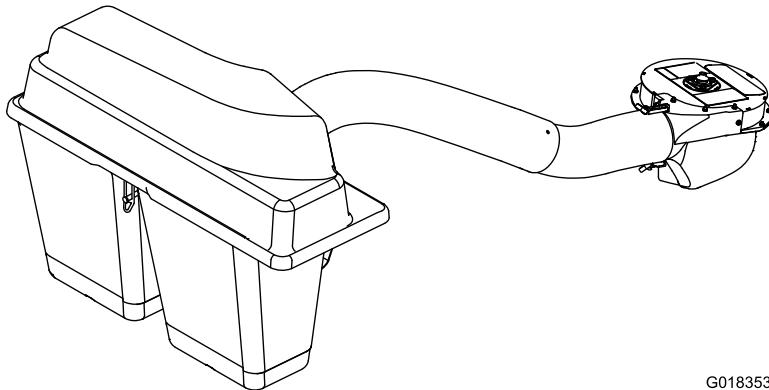


TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

**48インチ、52インチ、60インチ E-Z
Vac™ ツインソフトバガード
Z Master® 2000 シリーズ芝刈り機
モデル番号78569—シリアル番号 312000001 以上**



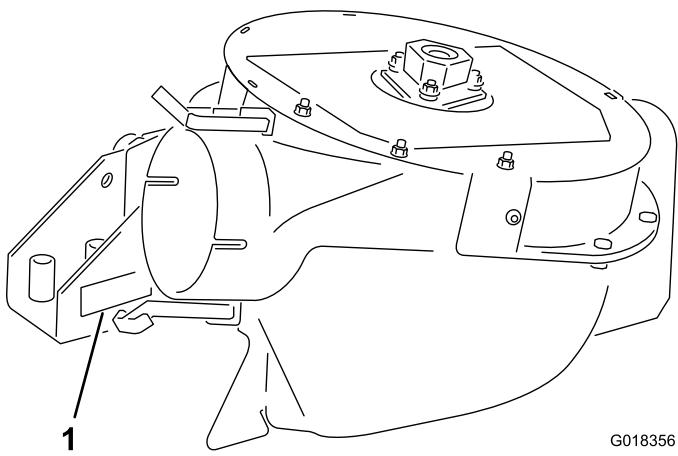
G018353

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

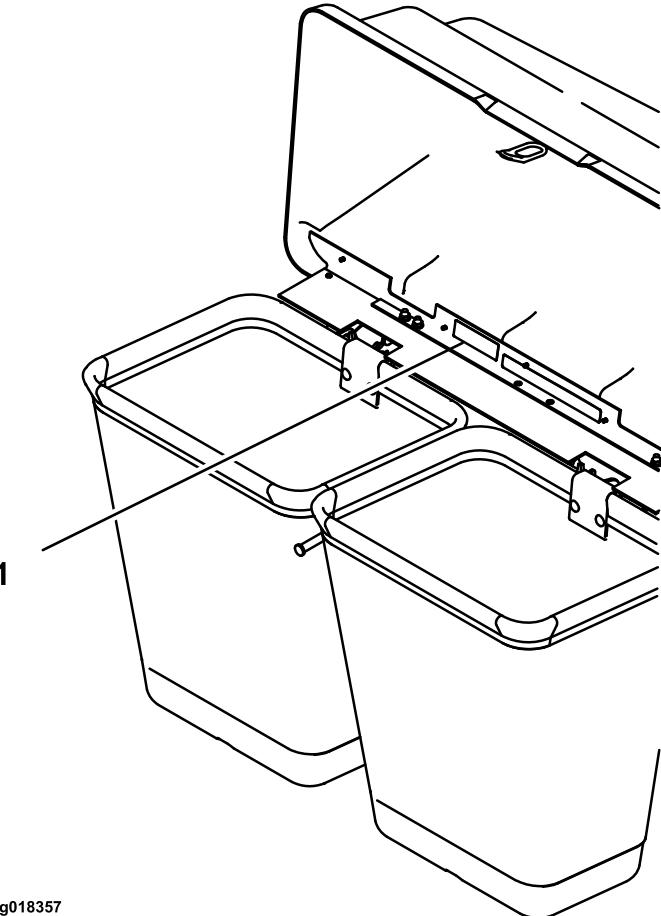
弊社のウェブサイト www.Toro.com で製品やアクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からることはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際にには、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。**図1**と**図2**にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちにモデル番号とシリアル番号をメモしておきましょう。



1. プロアの銘板取り付け位置

モデル番号_____
シリアル番号_____



1. バガーの銘板取り付け位置

モデル番号_____

シリアル番号_____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号**図3**を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について	3
--------------	---

安全ラベルと指示ラベル	4
組み立て	6
1 デッキの準備を行う	7
2 サイドバンパーとサポートブラケットを取り付ける	7
3 テールパイプ延長部を取り付け る	8
4 排気シールド取り付け穴を開け る	10
5 排気シールドを取り付ける	11
6 ホッパーサポートフレームとフードロッ ドの取り付け	13
7 フードバッフルを取り付ける	14
8 フードアセンブリとバッグの取り付 け	15
9 プロアアセンブリにプロアベルトを取り 付ける	17
10 プロアアセンブリを取り付ける	18
11 ベルトカバーの取り付け	20
12 排出チューブを取り付ける	20
13 ウェイトを取り付ける	24
14 タイヤ空気圧を点検する	26
運転操作	26
集草バッグにたまつた刈かすを捨てる	27
バガーが詰まった場合の対処	27
バガーの取り外し	27
デフレクタの使用について	28
マシンを移送するとき	28
ヒント	28
保守	30
推奨される定期整備作業	30
整備作業にかかる前に	30
フードスクリーンの清掃	30
バガーとバッグの清掃	30
プロアベルトの点検	30
プロアベルトの交換	30
アイドラームのグリスピップ	31
バガーの点検	31
刈り込みブレードの点検	31
刈り込みブレードの選択	31
デフレクタの交換	32
保管	33
故障探究	34

安全について

以下の注意事項は、トロの芝刈り機を初めとする製品を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項です。

- 各部の操作方法や本機の正しい使用方法、警告表示などに十分慣れ、安全に運転できるようになります。
- 集草袋などのアタッチメントを使用する際には、特別の注意が必要です。アタッチメントによってマシンの運転特性や安定性が変わる場合がありますからご注意ください。
- 斜面での安定性を確保するために、メーカーの指示にしたがってウェイトやカウンタウェイトを必ず正しく搭載してください。
- 急斜面ではバガーを使用しないこと。集草装置が重くなるとマシンを制御できなくなったり転倒したりする危険があります。
- 斜面では必ず減速し安全に十分注意して運転してください。また斜面では、必ず決められた走行方向や作業方向を守ってください。芝草の状態によって車両の安定度が変わりますから注意してください。段差の近くでの運転には特に注意してください。
- 斜面では動作も運転操作もゆっくりと行うことが原則です。急旋回したり不意に速度や方向を変えたりしないでください。
- 集草装置をとりつけることによって視界が制限される場合があります。バックするときには十二分の注意が必要です。
- トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- 絶対に、デフレクタを上げたまま、取り外したまま、あるいは改造したりして刈り込みをしないでください集草装置を使用するときは別。
- 可動部に手足を近づけないよう注意してください。エンジンを駆動させたままで調整を行うのは避けてください。
- どんな場合であれ集草バスケットを空にする時や詰まりを除去する時も含みます、運転位置を離れる時には、平らな場所に停車し、駆動装置を解除し、タイヤに輪止めをかけ、エンジンを停止させてください。
- 集草装置を外して刈り込みを行う場合には、必ず、以前に取り外したデフレクタやガードなどを元通りに取り付けてから運転してください。集草装置もデフレクタも取り付けない状態の運転は絶対にしないでください。
- 集草バスケットを空にする時やシートの詰まりを除去する時には、エンジンを停止させてください。
- シートやプロアチューブの詰まりの除去には必ず棒などを使用し、決して素手で行わないでください。

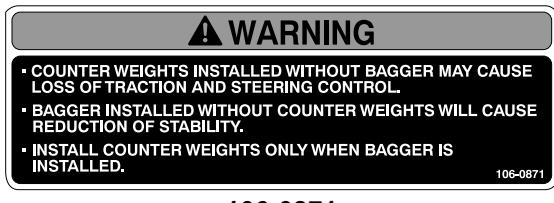
- 集草装置の中に、長期間にわたって刈かすを放置しないでください。
- 集草装置の各部が消耗や劣化してくると、内部の可動部が露出したり、内部に吸い込まれたも

のが飛び出してくれる危険があります。各部を頻繁に点検し、必要に応じてメーカーが推奨する交換部品と交換するようにしてください。

安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



- 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと。
- 警告 聴覚保護具を着用のこと。
- インペラによる切傷や手足の切断の危険手を近づけないことすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。
- インペラによる手足や指の切断の危険PTOを解除し、エンジンを止めてキーを抜き取り、各部が完全に停止するまで待つこと。
- 異物が飛び出す危険プロアを作動させる前に必ず集草装置を取り付け、ラッチを確認すること。
- 警告暴走の恐れウルトラバキュームを取り付けていないのにウルトラバキューム用のウェイトを取り付けたままで運転すると、車両の制御ができないくなる恐れがある同様に、ウルトラバキュームを取り付けているのにウェイトを取り付けずに運転すると、車両の制御ができないくなる恐れがある装置とウェイトは常にセットで取り付け・取り外しすること。



109-6809

1. 手を押しつぶされる危険バガー全体を機体から取り外さないこと1バガー上部を開く。2. バガーからバッグを取り外す。3. バガー上部を閉めたままで外さないこと上部を開いてから取り外すこと。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	デッキの準備を行います。
2	左バンパー	1	サイドバンパーとサポートブラケットを取り付けます。
	左側フレームサポートブラケット	1	
	右バンパー	1	
	右側フレームサポートブラケット	1	
	キャリッジボルト3/8 x 1-1/4 インチ	6	
	フランジナット3/8 インチ	6	
3	テールパイプ延長部	1	マフラー延長部を取り付けます。
	ワッシャヘッドねじ#8 x 1/2 インチ, タップねじ	1	
4	排気シールド	1	排気シールド取り付け穴を開けます。
	フランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1 インチ	2	
	ナット(3/8 インチ)	2	
5	排気シールド	1	排気用防熱シールドを取り付けます。
	フランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1 インチ	3	
	ナット(3/8 インチ)	3	
6	ホッパーサポートフレーム	1	バガーの取り付けブラケットを取り付ける。
	ヘアピン	2	
	フード押さえ棒	1	
7	バガーフード	1	フードバッフルを取り付ける。
	バッフル	1	
	ヘアピン小	2	
8	フードアセンブリ	1	フードアセンブリとバッグを取り付けます。
	バッグ	2	
9	プロアプロアドライブキットより プロアベルトプロアドライブキットより	1 1	プロアアセンブリにプロアベルトを取り付けます。
10	プロアアセンブリプロアドライブキットより スプリングプロアドライブキットより	1 1	プロアアセンブリを取り付けます。
11	ベルトカバー プロアドライブキットより カバーのノブ	1 1	ベルトカバーを取り付ける。
12	上排出チューブ ねじ1/4 x 3/4 インチ ロックナット1/4 インチ 下排出チューブ	1 3 3 1	排出チューブを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
13	ウェイト取り付けブラケット キャリッジボルト 5/16 x 3/4 インチ フランジナット 5/16 インチ 前ウェイト ボルト 3/8 x 1インチ ロックワッシャ 平ワッシャ フランジナット 3/8 インチ	1 2 2 3 6 6 6 3	ウェイトを取り付けます。
14	必要なパーツはありません。	—	タイヤ空気圧を点検する。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

デッキの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

ブロアとバガーキットを取り付ける準備として、以下の作業を行ってください。

- PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- 刈り込みデッキに曲がりや凹みが発生している場合には、これらをすべて修復し、欠損しているパーツはすべて取り付ける。
- 刈り込みデッキをきれいに洗浄し、特に取り付け位置となるデッキ後部に汚れがないようにする。

2

サイドバンパーとサポートブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左バンパー
1	左側フレームサポートブラケット
1	右バンパー
1	右側フレームサポートブラケット
6	キャリッジボルト 3/8 x 1-1/4 インチ
6	フランジナット 3/8 インチ

手順

- 以下の手順で左右のバンパーを外す
 - 左側バンパーとマフラーシールドをシャーシおよび中央エンジンガードに固定しているボルトとナットを外す図4。

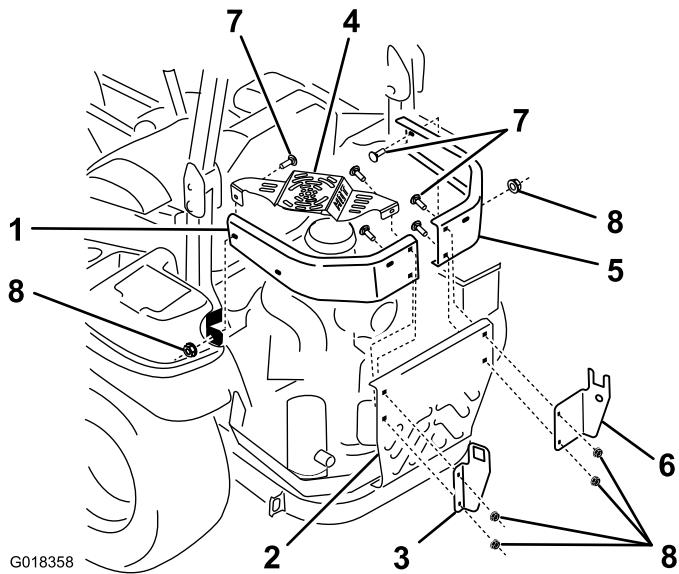


図 4
サイドバンパーとブラケットの取り付け

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 左側バンパー | 5. 右側バンパー |
| 2. 中央エンジンガード | 6. 右側フレームサポートブラケット |
| 3. 左側フレームサポートブラケット | 7. キャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ |
| 4. マフラー・シールド | 8. フランジナット3/8インチ |

- B. 機体から左側バンパーとマフラー・シールドを外す。

注 マフラー・シールドは新しい左サイドバンパーと共に取り付けるので捨てないこと。

- C. 右側バンパーをシャーシおよび中央エンジンガードに固定しているボルトとナットを外す。

注 古い左右サイドバンパーを機体に固定していたキャリッジボルトとフランジナットは廃棄する。

2. 以下の要領で、新しい左サイドバンパーを取り付ける

- 新しい左側バンパーを、シャーシ前方の取り付けポイントと、中央エンジンガードにあるバンパー取り付けポイントに合わせる**図 4**。
- 左側フレームサポートブラケットの取り付けフランジ穴が2つついているフランジを、**図 4**のように整列させる。
- 左側フレームサポートブラケットの穴と、左側バンパーのバック穴を、中央エンジンガードの取り付け穴に合わせる**図 4**。
- ブラケットとバンパーを、中央エンジンガードにある下側の穴に仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ1本とフランジナット3/8インチ1個を使用する**図 4**。

E. マフラーのヒートシールドブラケット付きを左側バンパーの内側にセットする**図 4**。

F. 左側サポートブラケット、左バンパー、マフラーガード用の穴を、中央エンジンガードの上側の穴に合わせる**図 4**。

G. ブラケットとバンパーとマフラーガードを、中央エンジンガードにある上側の穴に仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ1本とフランジナット3/8インチ1個を使用する**図 4**。

H. 左側バンパーの前穴とマフラーガードの前穴とを、シャーシの前方取り付け位置に合わせる**図 4**。

I. バンパーとガードを、取り付け位置に固定するキャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ1本とフランジナット3/8インチ1個を使用する**図 4**。

J. ブラケット、バンパー、マフラーガードを中央エンジンガードに固定しているボルト・ナットを本締めする。

3. 以下の要領で、新しい右サイドバンパーを取り付ける

A. 新しい右側バンパーを、シャーシ前方の取り付けポイントと、中央エンジンガードにあるバンパー取り付けポイントに合わせる**図 4**。

B. 右側フレームサポートブラケットの取り付けフランジ穴が2つついているフランジを、**図 4**のように整列させる。

C. 右側フレームサポートブラケットの穴と、右側バンパーのバック穴を、後部・中央エンジンガードの取り付け穴に合わせる**図 4**。

D. ブラケットとバンパーを、中央エンジンガードに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ2本とフランジナット3/8インチ2個を使用する**図 4**。

E. 新しい右側バンパーの前穴を、シャーシの前方取り付け位置に合わせる**図 4**。

F. バンパーを、取り付け位置に固定するキャリッジボルト3/8 x 1-1/4インチ1本とフランジナット3/8インチ1個を使用する**図 4**。

G. ブラケットとバンパーを中央エンジンガードに固定しているボルト・ナットを本締めする。

3

テールパイプ延長部を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	テールパイプ延長部
1	ワッシャヘッドねじ#8 x 1/2 インチ, タップねじ

手順

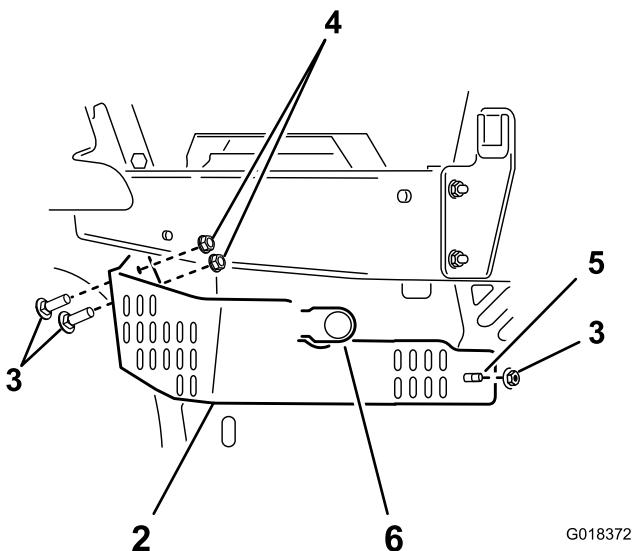
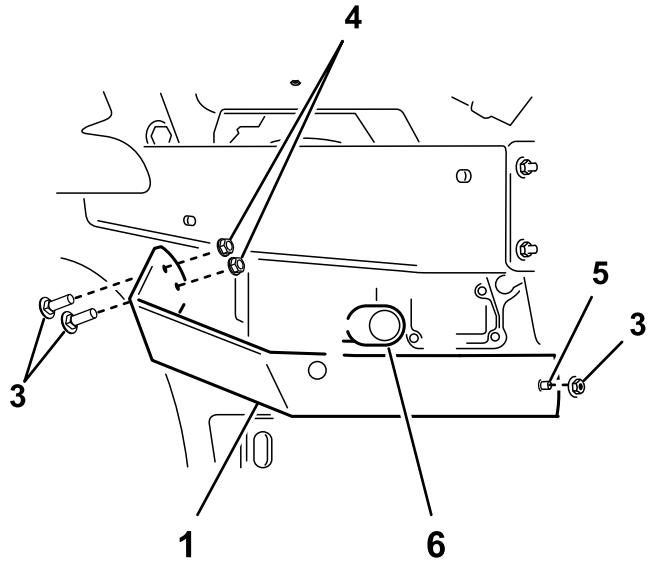
以下の手順でテールパイプ延長部を取り付ける

- エンジンの左下側にあるマフラーのテールパイプを探し出す。

注 もし、テールパイプ延長部を取り付けるための空間が不足しているようであれば、以下の方法で場所を確保する

- 左下エンジンガードを機体に固定しているフランジナット3個を取り外す図5。

注 外した部品は捨てないこと。



G018372

図5
左下エンジンガード

- 左下エンジンガード米国内仕様 4. フランジナット
- 左下エンジンガード米国外仕様 5. キャリッジボルト中央エンジンガード
- キャリッジボルト前取り付けポイント 6. マフラーのテールパイプけポイント

- 前取り付けポイントと左下エンジンガードのキャリッジボルト2本を取り外す図5。

注 外した部品は捨てないこと。中央エンジンガードのキャリッジボルトは外さない。

- テールパイプの出口端部からマフラーに向かってパイプ外側に沿って図6 19 mmを測り、その位置にマーキングする。

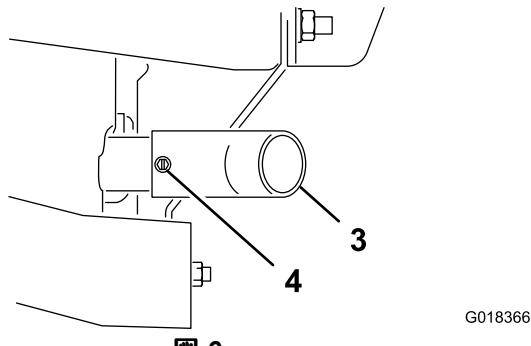
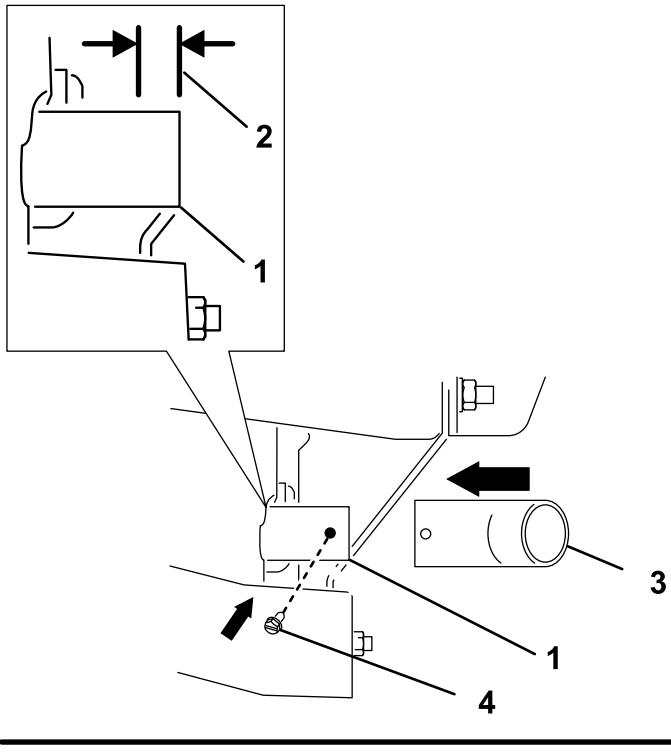


図 6 テールパイプ延長部の取り付け

G018366

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. マフラーのテールパイプ | 3. テールパイプ延長部 |
| 2. 19 mm | 4. ワッシャヘッドねじ#8 x 1/2 インチ, タップねじ |
-
3. 延長部の一端部ドリル穴の付いている方をマフラーのテールパイプに差し込み、ステップ2でつけたマークに端部を合わせる。延長部を回転させて、ついているドリル穴が外側を向いて水平位置にくるようする図6。
 4. テールパイプ延長部にあるドリル穴の位置と大きさをマフラー・テールパイプにマーキングしたら、テールパイプ延長部を外す。
 5. テールパイプにつけたマークの中央部にポンチを打つ。
 6. この位置に、直径 1.5 mm の穴を開ける。
 7. テール延長部をもう一度テールパイプに差し込み、穴の位置を合わせる。
 8. タップねじ#8 x 1/2 インチを使って延長部を固定する図6。

注 ステップ1でエンジンガードを外した場合には、以下の手順で再取り付けしてください

- A. ガードについている穴を、前取り付けポイントの後ろ側と中央エンジンガードに合わせる図5。
- B. 下側エンジンガードを中央エンジンガードのキャリッジボルトに仮止めする先ほど外したフランジナットのうちの1個を利用する図5。
- C. 下側エンジンガードを前取り付けポイントに固定する先ほど外したキャリッジボルトとフランジナットを利用する図5。
- D. 全部のボルト・ナットを本締めして左下側エンジンガードを固定する。

4

排気シールド取り付け穴を開ける

この作業に必要なパーツ

1	排気シールド
2	フランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2	ナット(3/8 インチ)

手順

注 排気シールド取り付け用の穴がすでに左下エンジンガードについている場合には、セクション5 [排気シールドを取り付ける\(ページ 11\)](#)の説明へ飛んでください。

注 排気熱シールドを取り付ける前に、テールパイプ延長部と左下エンジンガードを取り付けてください。

以下の手順により、左下バンパーに、排気シールド用の穴を開ける

1. エンジンの左後部角にあるマフラーのテールパイプとテールパイプ延長部および、左下エンジンガードを探し出す。
2. 以下の手順で、左下エンジンガードに排気シールドを取り付ける
 - A. シールドの湾曲部をテールパイプ延長部の中央部に合わせる。
 - B. 以下の手順で熱シールド取り付け穴を開ける
 - **米国内仕様のマシン**
 - i. 排気シールドの右フランジ穴が2つ付いている)を左下エンジンガードの後面に合わせる図7。

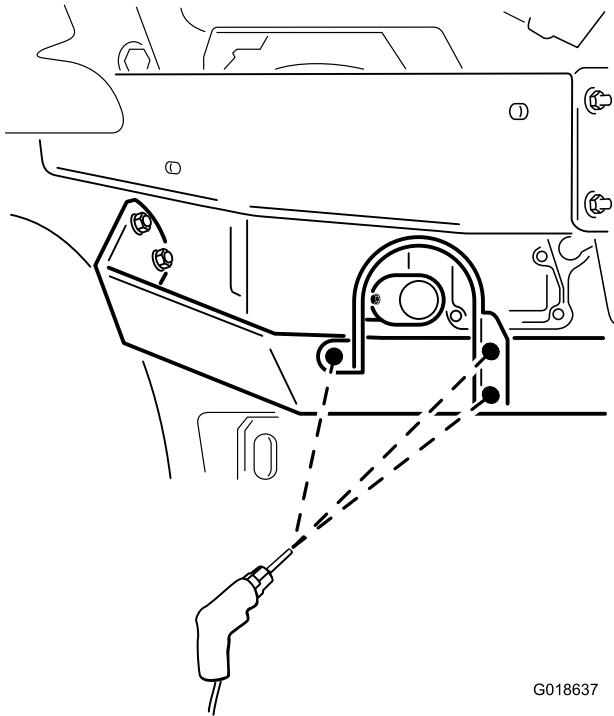


図 7

米国内仕様のマシンへの熱シールドの取り付け

- ii. 排気シールドの右側のフランジの下側のエッジを、エンジンガードの下側のエッジに揃える図 7。
- iii. 排気シールドの左フランジ穴が1つ付いている)を左下エンジンガードの小さい角部に合わせる図 7。
- 注** 排気シールドの左側フランジ穴が1つの方が、エンジンガードの表面と同じ高さ面一になるようしてください。
- iv. 排気シールドの左フランジの上部エッジを、左下エンジンガードの上部エッジに合わせる図 7。
- v. 排気シールドフランジについている穴をすべて左下エンジンガードに写し取り、マークングが終わったら、エンジンガードから排気シールドを外す。

・ 米国外内仕様のマシンTE

- i. 排気シールドの右フランジ穴が2つ付いている)の穴を、左下エンジンガードの一番左端の2つのスロットに合わせる図 8。

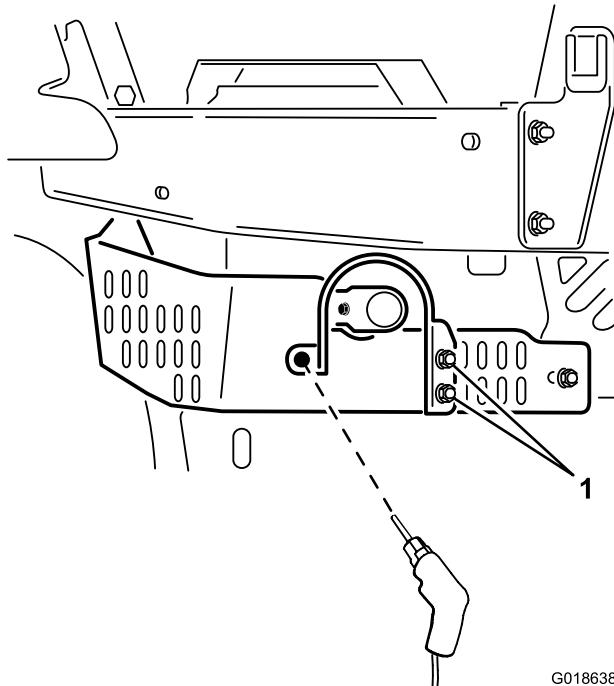


図 8

米国外仕様のマシンTEへの熱シールドの取り付け

1. フランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1 インチとナット3/8 インチ
- ii. 排気シールドの右側のフランジの下側のエッジを、エンジンガードの下側のエッジに揃える図 8。
- iii. 排気シールドの右フランジを、エンジンガードに仮止めするフランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1 インチを2本とナット3/8 インチ2個を使用する。
- iv. 排気シールドの左フランジ穴が1つ付いている)を左下エンジンガードの角部に合わせる図 8。
- 注** 排気シールドの左側フランジ穴が1つの方が、エンジンガードの表面と同じ高さ面一になるようしてください。
- v. 排気シールドの左フランジについている穴を左下エンジンガードに写し取る。
- vi. エンジンガードから排気シールドを外す。

3. 左下エンジンガードの表面につけた各マークの中央部にポンチを打つ。
4. この位置ステップ3でつけたポンチマーク、エンジンガードに、直径 10 mmの穴を開ける。

重要 この時左下エンジンガードに熱シールドの取り付け穴をドリルで開けている最中に、ドリルでマフラーに傷をつけないように注意してください。

5

排気シールドを取り付ける

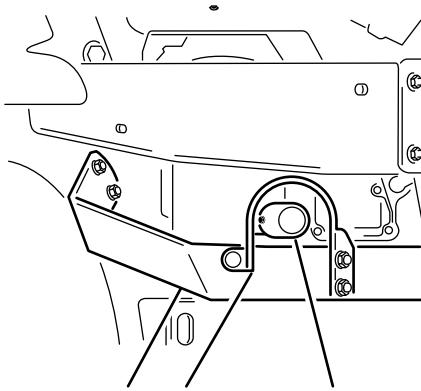
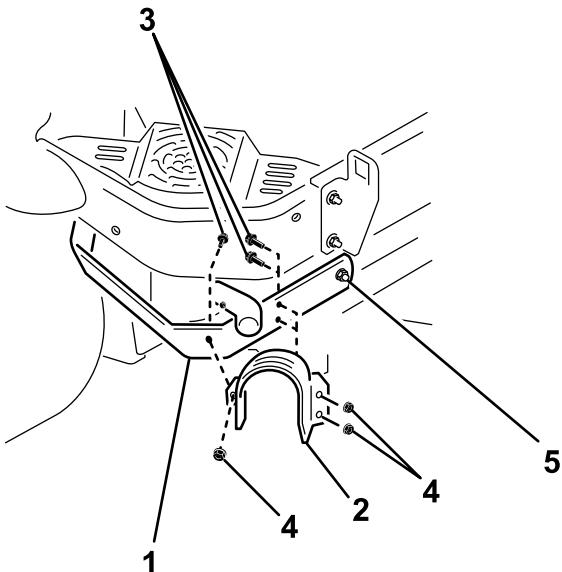
この作業に必要なパーツ

1	排気シールド
3	フランジ付き六角ヘッドボルト3/8 x 1インチ
3	ナット(3/8 インチ)

手順

以下の手順で、左下バンパーに排気ガードを取り付ける

1. 排気ガードの左フランジを、エンジンガードの小さい角部に取り付ける図9は米国内仕様の場合、図10は米国外仕様TEの場合。



G018364

図9

米国内仕様のマシンへの熱シールドの取り付け

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 左下エンジンガード | 4. ナット(3/8 インチ) |
| 2. 排気シールド | 5. フランジナット左下エンジン
ガード、後部の取り付けボ
イント |
| 3. フランジ付き六角ヘッドボ
ルト3/8 x 1インチ | 6. テールパイプ延長部 |

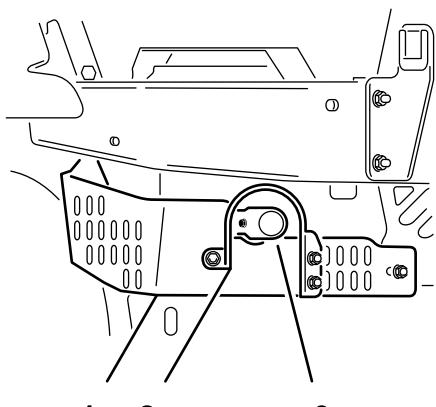
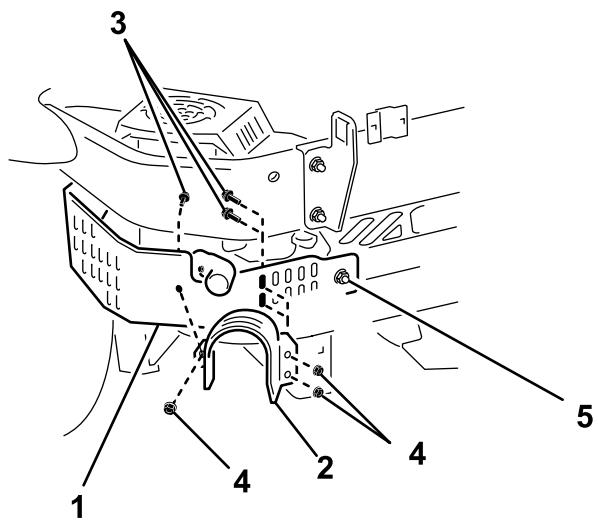


図 10

G018365

米国外仕様のマシンTEへの熱シールドの取り付け

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 左下エンジンガード | 4. ナット(3/8 インチ) |
| 2. 排気シールド | 5. フランジナット左下エンジン
ガード、後部の取り付けポ
イント |
| 3. フランジ付き六角ヘッドボ
ルト3/8 x 1インチ | 6. テールパイプ延長部 |

2. **米国内仕様のマシン**では、排気ガードの右フランジの穴を、左下バンパーの後部の穴に合わせる**図 9**。

米国外仕様のマシンTEでは、排気ガードの右フランジの穴を、左下エンジンガードの後部の一一番左側の2つのスロットに合わせる**図 10**。

3. エンジンガードに防熱シールドを取り付けるフランジ付き六角ボルト3/8 x 1インチ3本とフランジナット3/8インチ**図 9**米国内仕様モデルの場合**図 10**と米国外仕様モデルTEの場合

6

ホッパーサポートフレームとフードロッドの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ホッパーサポートフレーム
2	ヘアピン
1	フード押さえ棒

手順

以下の手順でホッパーサポートのフレームを取り付ける

1. ホッパーサポートのフレームの位置決めを行うフレーム上部についているキー付きフードピンが右側を向き、フレーム下部にある取り付けピンが左を向くように**図 11**のように取り付ける。

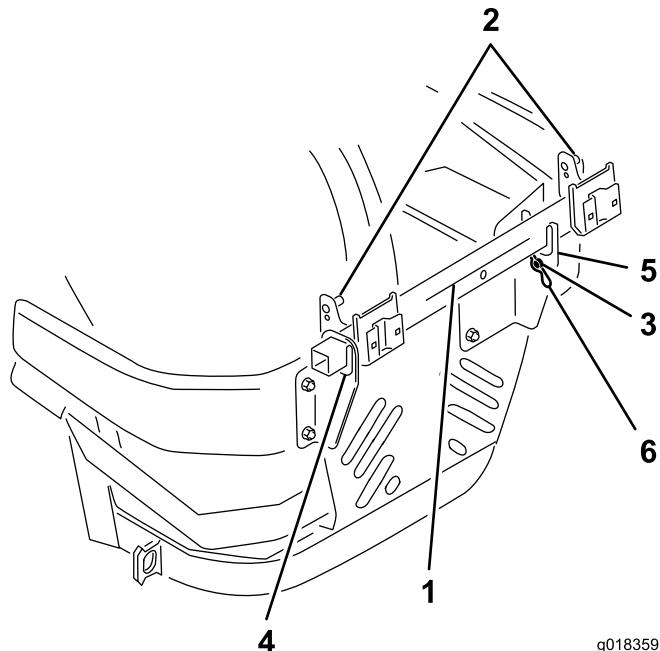


図 11

g018359

ホッパーサポートフレームの取り付け

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. ホッパーサポートフレーム | 4. 左側フレームサポートブラ
ケット |
| 2. キー付きフードピン | 5. 右側フレームサポートブラ
ケット |
| 3. 取り付けピン | 6. ヘアピン |

2. ホッパーサポートフレームを、左フレームサポートブラケットの四角い開口部に差し込む**図 11**。

- 右側フレームサポートブラケットの右側に、取り付けピンを合わせる図11。
- フレームを、右側ブラケットのU字タブの間に降ろす図11。
- ホッパーサポートフレームを左にスライドさせて、右側フレームサポートブラケットに取り付けピンが通るようにする図11。

注 ホッパーサポートフレームとフレームサポートブラケットとは精密嵌め合い設計となっている。必要に応じ、木槌などを使用してホッパーフレームサポートの位置をフレームブラケット内で調整してください。

- 取り付けピンの穴にヘアピンを通して、フレームをブラケットに固定する図11。

以下の要領でフードロッドを取り付ける

- フードロッドの位置決めを行うストップフランジがホッパーのサポートフレームを向くようにする図12。

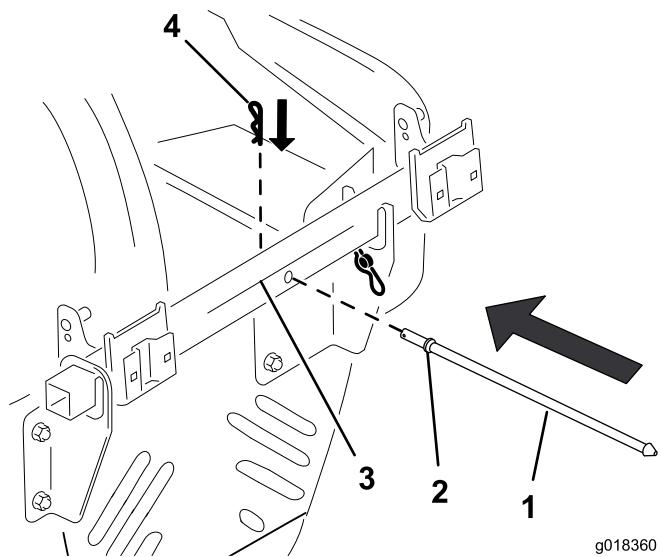


図12
フードロッドの取り付け

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. フードロッド | 3. ホッパーサポートフレーム |
| 2. ストップフランジ | 4. ヘアピン |

- ホッパーサポートフレームの穴にロッドを通し、ストップフランジがフレームの裏側に当たるようにする図12。

注 フードロッドの穴がホッパーフレームの穴の前側を越えて延びているようにしてください。

- フードロッドの穴にヘアピンを通して、サポートフレームにフードロッドを固定する図12。

7

フードバッフルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バガーフード
1	バッフル
2	ヘアピン小

バッフルをバガーフードに取り付ける

- バッフルに付いているヘアピンを外す捨てないこと。
- バッフルのスロットが、バガーフードの前後の壁に向き、取り付けタブがフードバッフルの上にくるように位置を決める図13。

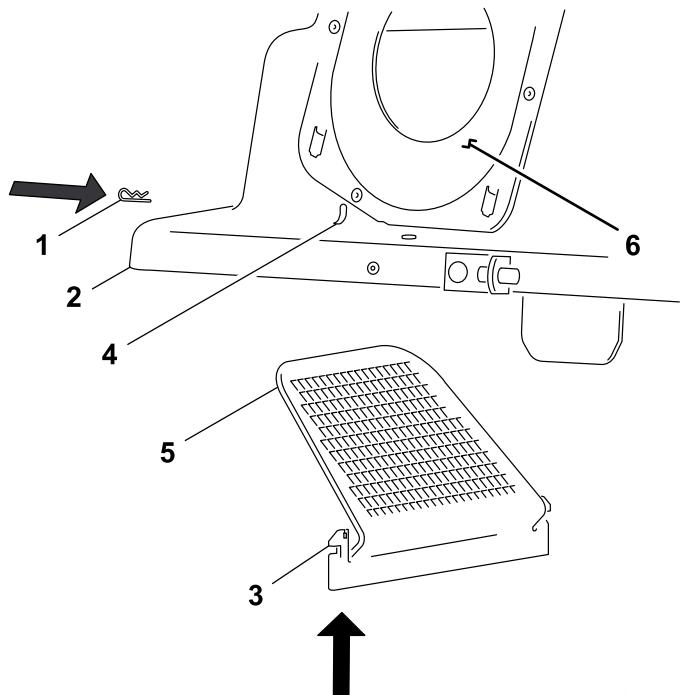


図13
フード、バッフル、ヘアピン

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ヘアピン | 4. バッフルのスロット |
| 2. バガーフード | 5. バッフル |
| 3. バッフル取り付けタブ | 6. ダクトシール |

- ダクトシールが自分の左手側に来るよう、図13のようにフードを位置決めする。
- スクリーン部分が上を向き、角部が左になるように位置合わせする図13。
- フードの下から上にバッフルを差し込む図13。

- バッフル取り付けタブを、フードのバッフル取り付けスロットに合わせ、取り付けタブを上向きにスロットに押し込む図13。
- バッフル取り付けタブの穴にヘアピンを図14のように通してフードにバッフルを固定する。

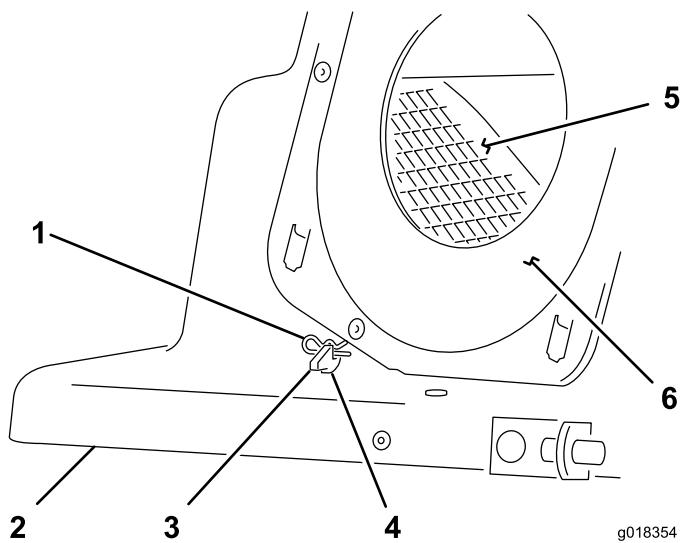


図14
バガーフードアセンブリ

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ヘアピン | 4. バッフルのスロット |
| 2. バガーフード | 5. バッフル |
| 3. バッフル取り付けタブ | 6. ダクトシール |

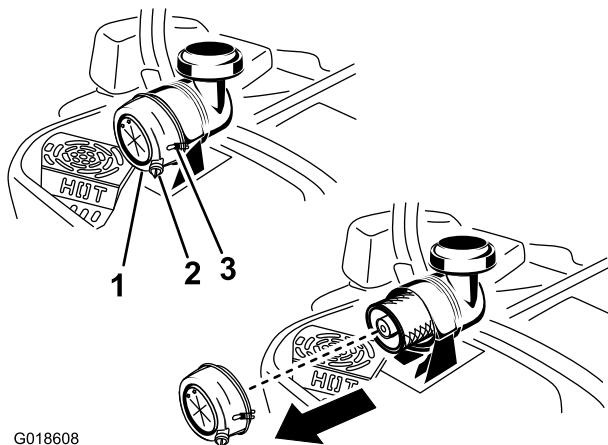


図15
エアクリーナカバーを取り外す

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. エアクリーナのカバー | 3. エアクリーナのラッチ |
| 2. ブリーザバルブ | |
-
- エアフィルタのカバーを後ろに引いてエアフィルタのカバーを外す。
- 以下の要領でフードアセンブリを取り付ける
- フードについているフードブラケット左右のブラケットにあるキー穴付きスロットを探し出す図16。
 - ホッパーサポートフレームについているホッパーサポートフレーム上部にあるピボットピンのキー付きピン2本を探し出す図16。

8

フードアセンブリとバッグの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	フードアセンブリ
2	バッグ

手順

以下の手順でエアクリーナのカバーを取り外す

- エアフィルタのカバーをエアフィルタハウジングに固定しているラッチ2つを外す図15。

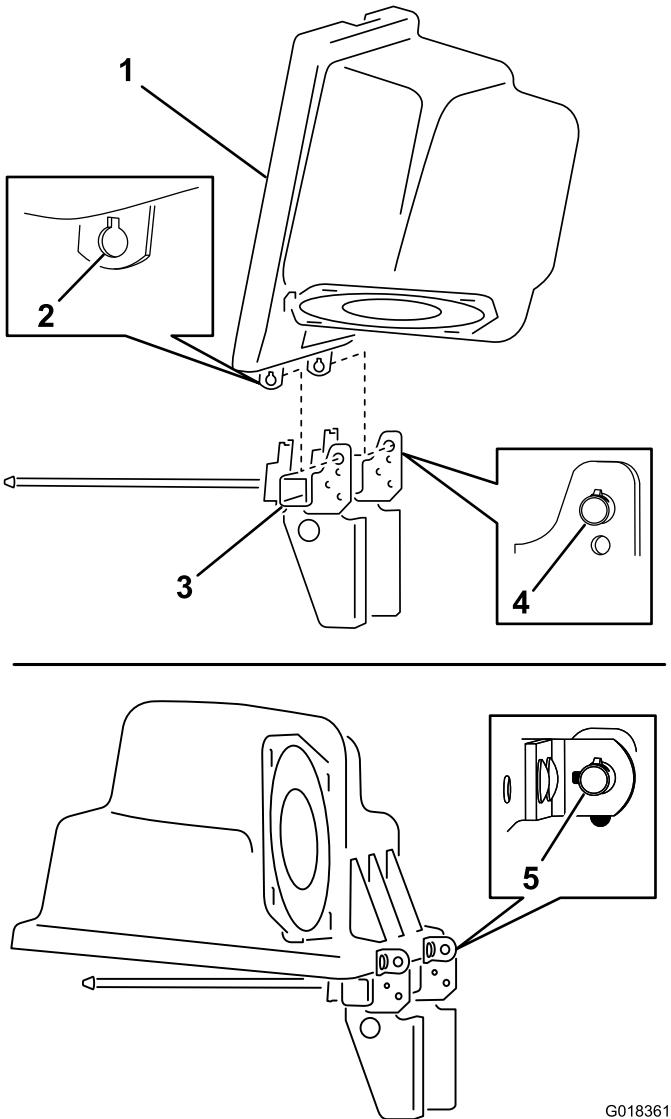


図 16
フードを取り付ける

G01861

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. フード | 4. ピボットブラケットキーピットピン付き |
| 2. フードブラケットキー穴スロット付き | 5. フードを取り付けた状態 |
| 3. ホッパーサポートフレーム | |

3. キー穴のスロットが上になるようにフードを回転させ、フードをキー付きピボットピンの右側に合わせる図 16。
4. フードをホッパーフレームに組み付けるキー穴付きブラケットをキー付きピンに被せるように差し込む図 16。
5. フードを下に下ろし、図 16のようにホッパーサポートフレームに固定する。

以下の手順でエアクリーナのカバーを取り付ける

注 次フィルタの外側リムをしっかりと押さえて確実に装着してください。

重要 フィルタの真ん中柔らかい部分を持たないでください。

1. エアクリーナのカバーのブリーザバルブが時計の5時の位置にくるようにエアクリーナカバーを取り付ける図 17。

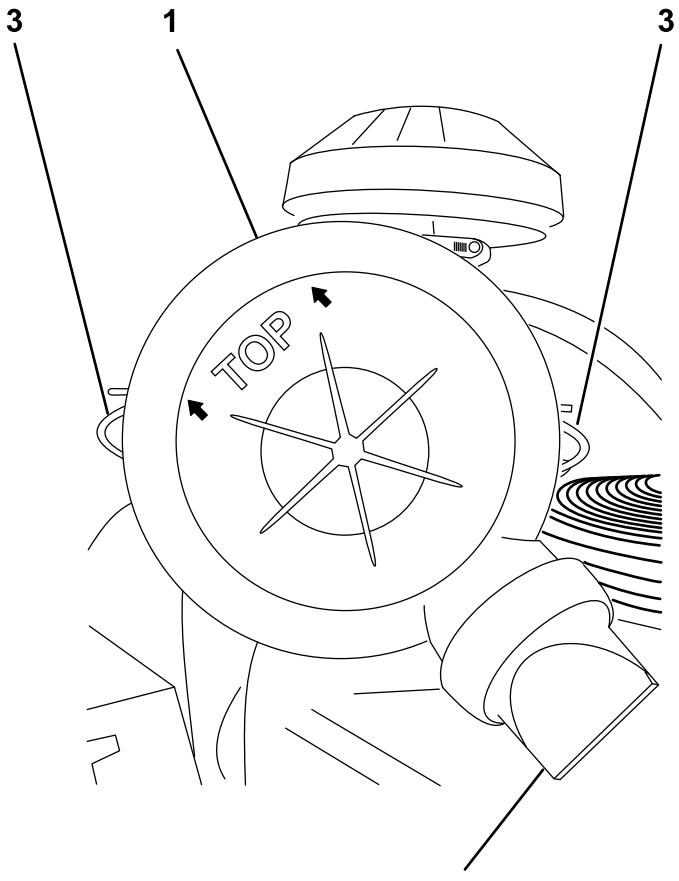


図 17
エアクリーナのカバー

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. エアクリーナのカバー | 3. エアクリーナのラッチ |
| 2. ブリーザバルブ | |

2. ラッチをしっかりと掛ける図 15。

以下の手順でホッパーサポートのフレームにバッグアセンブリを取り付ける

1. フードを上げ、ホッパーサポート上でノッチ付きバッグブラケットが見えるようにする図 18。

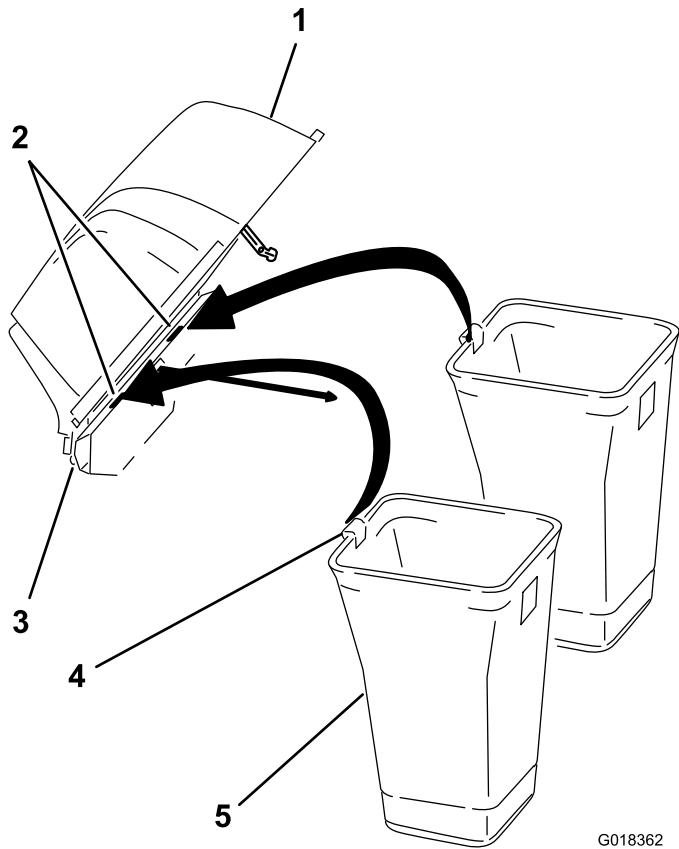


図 18
バッグを取り付ける

G018362

1. フード
 2. ノッチ付きバッグブラケット
 3. ホッパーサポートフレーム
 4. 取り付けタブ
 5. バッグ
2. バッグアセンブリの取り付けタブをノッチ付きバッグブラケットに合わせる図 18。
 3. バッグアセンブリのタブがノッチ付きブラケットに完全に着座するまでバッグを下げる図 18。
 4. もう1個のバッグについても同様にステップ 1 と 2 を行う図 18。
 5. バガーフードを下ろす図 18。
 6. フードラッチについている穴を、フード押さえ棒に合わせる図 19。
 7. フードラッチを前に押してフードロッドの端部をラッチに完全に通す図 19。

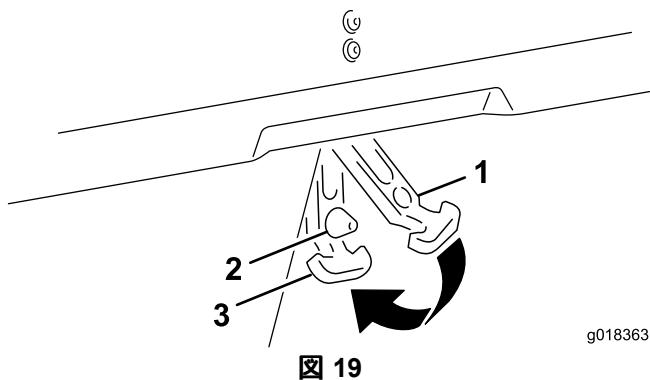


図 19

g018363

9

プロアアセンブリにプロアベルトを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	プロアプロアドライブキットより
1	プロアベルトプロアドライブキットより

手順

1. プロアブーリにベルトを取り付ける図 20 と 図 21。

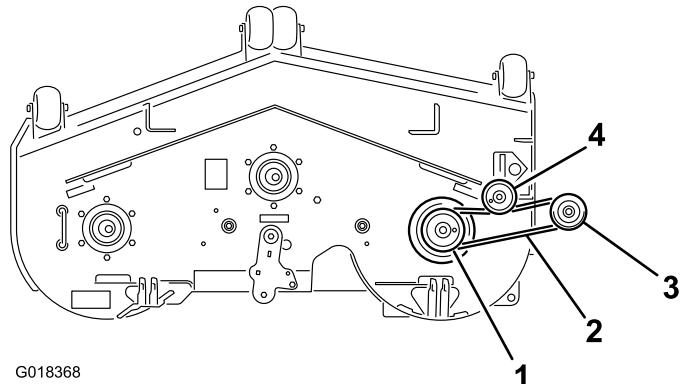


図 20
プロアベルトの経路

1. 駆動ブーリ
2. プロアベルト
3. プロアブーリ
4. アイドラ/テンションブーリ

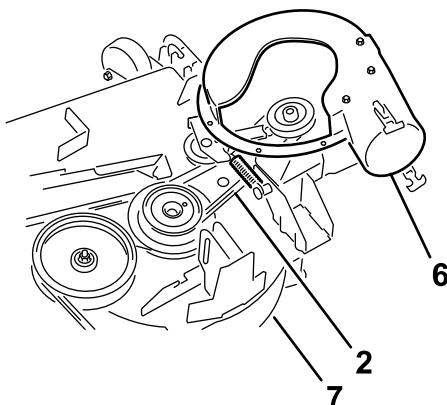
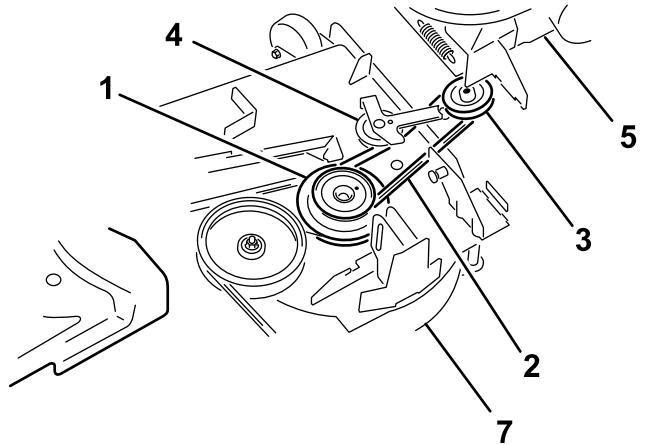


図 21
プロアベルトの経路

G018367

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 駆動プーリ | 5. プロア都合上、ハウジングの位置が実際と異なる |
| 2. プロアベルト | 6. プロアの位置説明の都合上、ハウジングを表示していない |
| 3. プロアプーリ | 7. 刈り込みデッキ |
| 4. アイドラ/テンションプーリ | |

2. ベルトアセンブリを取り付ける時に、ベルトとプーリの整列状態を乱さないように注意すること。

10

プロアアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	プロアアセンブリプロアドライブキットより
1	スプリングプロアドライブキットより

手順

!**警告**

排出口がデフレクタなどで覆われていないと、刈り込みデッキから異物が飛び出して人に当たる恐れがあり、このようなことが実際に起こると深刻な人身事故になりかねない。また、ブレードに触れて大怪我をする可能性もある。

- モアを使用するときには、必ず、カバープレート、マルチプレートまたは集草装置を取り付けておくこと。
- 集草シートと集草装置を外したら、必ずデフレクタを取り付けること。

以下の手順で、側方排出用シートを取り外す

重要 バッガーとプロアを取り外した場合には、側方排出用シートを取りつけること。

重要 側方排出用シートの取り付け金具類はすべて保管しておくこと。

1. 側方排出用シートを刈り込みデッキに固定しているロックナット、ボルト、スペーサ、スプリングを取り外す図 22。

注 外した金具類は保管してください。

2. 刈り込みデッキから側方排出用シートを取り外す。

注 シートは廃棄せずに保管してください。

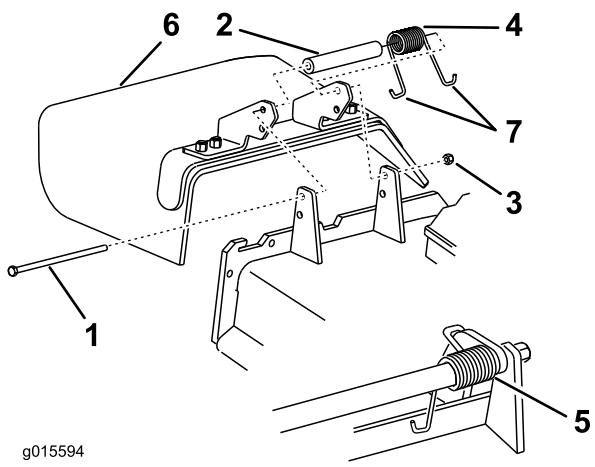


図 22

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ボルト | 5. スプリングを取り付けた状態 |
| 2. スペーサ | 6. デフレクタ |
| 3. ロックナット | 7. スプリングの J 字形フック |
| 4. スプリング | |

以下の要領でプロアアセンブリを取り付ける

1. 刈り込みデッキについている右側ベルトカバーを取り外す。
- 注** 取り外したベルトカバーは、側方排出用シートを取り付けて使用する場合に必要となるので廃棄せずに保管してください。
2. プロアのピボットピンを、刈り込みデッキのピボットピン穴に合わせる図 23。
3. プロアを降ろしてピボットピンを穴に通す図 23。

注 ベルトがプーリからはずれていないことを確認してください。

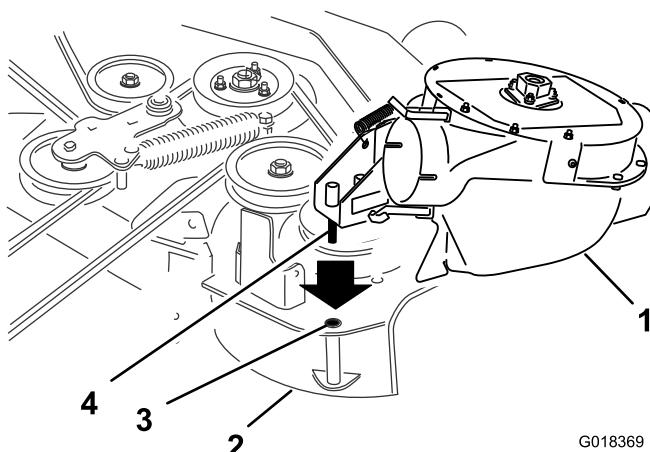


図 23

プロアをデッキのピボット穴に取り付ける

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. プロアアセンブリ | 3. ピボット穴 |
| 2. デッキ | 4. プロアのピボットピン |

4. ラッチピンをロック位置から開放位置にする図 24。

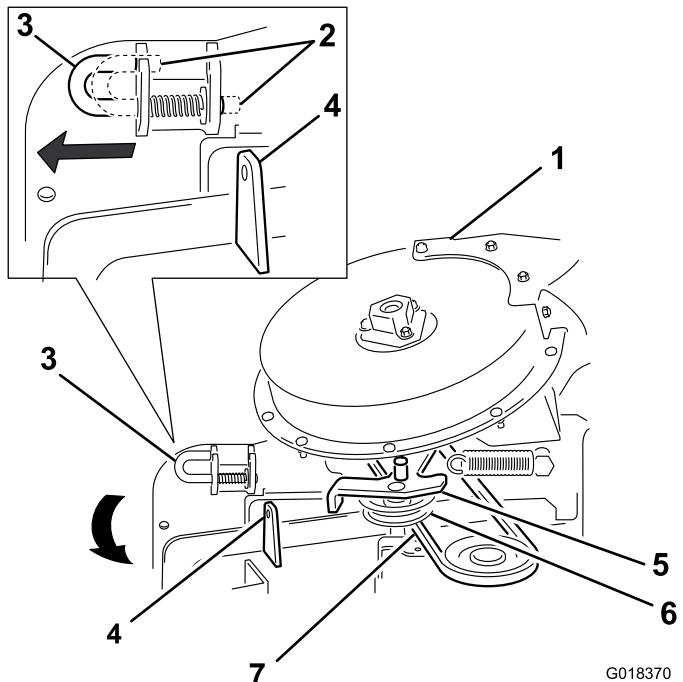


図 24
プロアとシートブラケットに固定する

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. プロアアセンブリ | 5. アイドラビットブラケット |
| 2. ラッチピンロック位置 | 6. アイドラブーリ |
| 3. ラッチピン開放位置 | 7. ベルトアイドラブーリの下 |
| 4. シートブラケット | |

5. プロアアセンブリを閉じて、ラッチピンをシートブラケットの穴に合わせる。
6. ラッチピンをロック位置にセットする図 25。

注 ラッチピンがシートブラケットの穴に完全に嵌るようにきちんとセットしてください。

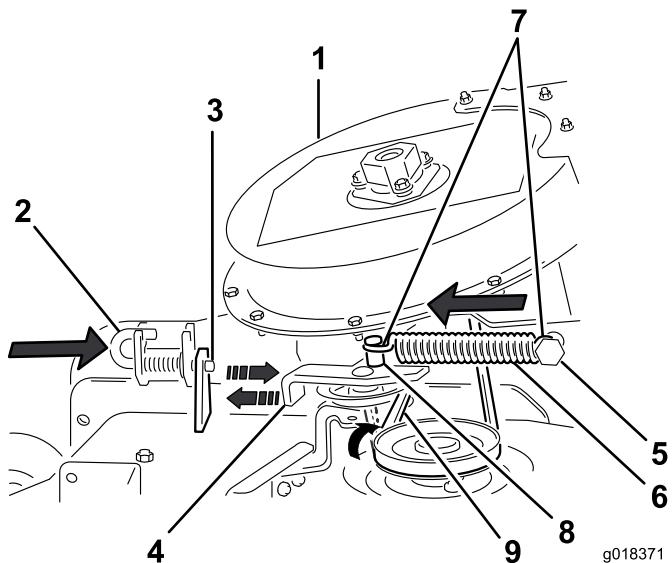


図 25

テンションスプリングを取り付けてベルトを整列させる

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. プロアアセンブリ | 6. スプリング |
| 2. ラッチピンロック位置 | 7. アイドラスプリングポスト |
| 3. シュートブラケット | 8. スプリングのフックの端部 |
| 4. アイドラピボットブラケット | 9. ベルトアイドラーに整列させた状態 |
| 5. 固定スプリングポスト | |

g018371

11

ベルトカバーの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ベルトカバーブロアドライブキットより
1	カバーのノブ

手順

- 刈り込みデッキを、一番低い刈高に降下させる。
- 新しい右側ベルトカバーを、ベルトカバーブラケットに合わせると共に、デッキブラケットのノッチに合わせる。
- 新しいベルトカバーを取り付けるカバーについている左右のノッチがベルトカバーサポートを越えるように取り付け、ラッチをかける図 26。

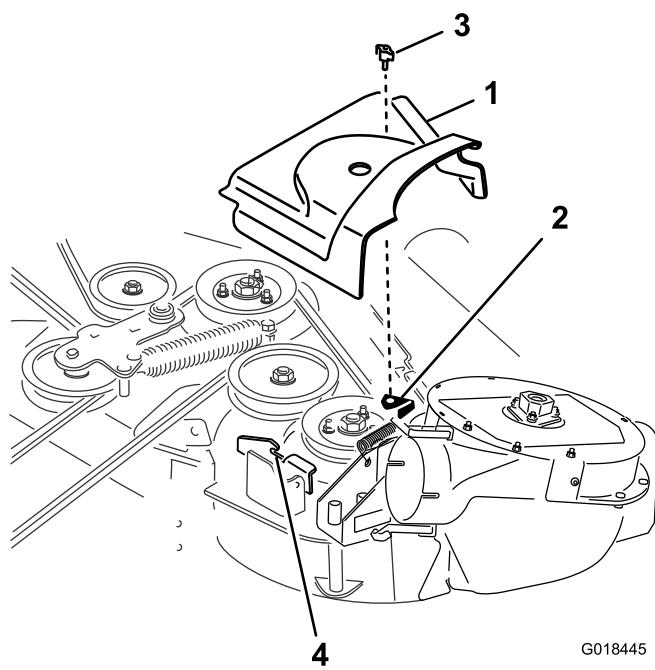


図 26

ベルトカバーを取り付ける

- 注** プロアアセンブリがラッチによって刈り込みデッキに確実に固定されているが、手でラッチを外すことは可能であることを確認してください。
- ベルトを駆動プーリに 図 20 および 図 21 のように取り付ける。
 - アイドラーの下にベルトを仮置きする 図 25。
 - アイドラピボットブラケットを固定スプリングポスト側に移動させる。スプリングを取り付けるスプリングのフックをアイドラスプリングポストに引っ掛ける 図 25。
- 注** スプリングのフックがポストに正しく入っていることを確認してください。
- スプリング付きアイドラーをスプリングポストから引き離し、ベルトを刈り込みデッキのプーリに回しかける 図 25。

注 プロアアセンブリにベルトを正しく回しかけてあることを確認してください。

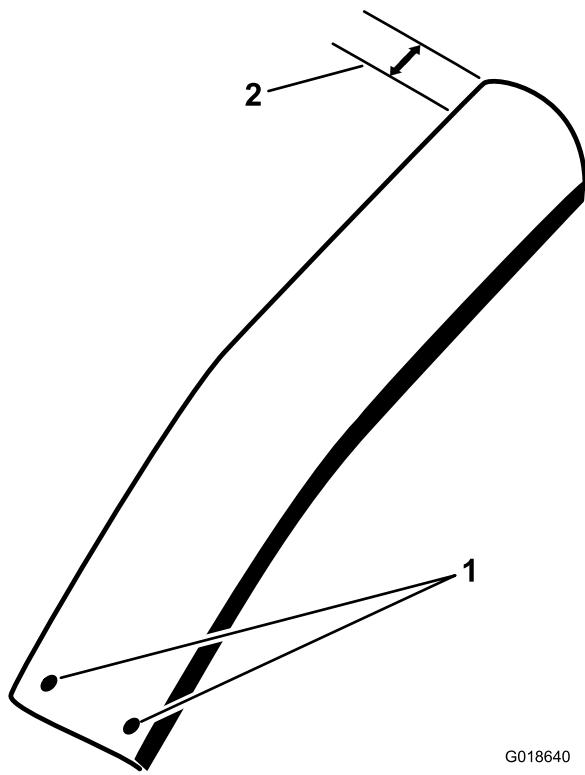
- ベルトカバー
- ベルトカバーサポート
- カバーのノブ
- ノッチ
- 新しいベルトカバーをデッキに固定するプロアドライブキットに入っているカバーのノブをカバーに通してベルトカバーサポートにねじ込む 図 26。

12

排出チューブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	上排出チューブ
3	ねじ 1/4 x 3/4 インチ
3	ロックナット 1/4 インチ
1	下排出チューブ

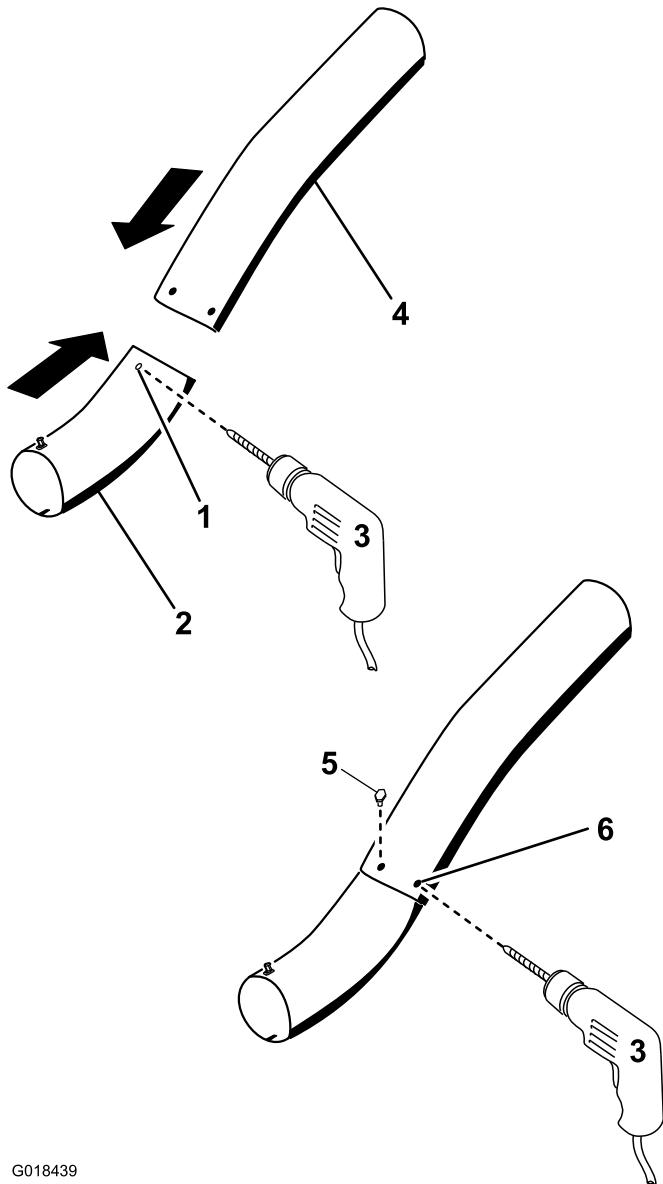


G018640

図 27
上排出チューブ

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
 2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
 3. 刈り込みデッキを、一番低い刈高に降下させる。
 4. フードの下からチューブが見えるようにするためにバグを取り外す。
 5. フードを下げてラッチをかけてホッパーを固定する。
 6. 52 インチデッキまたは 60 インチデッキにバガーキットを取り付ける場合には、ステップ 8 までの手順を飛ばす。
 7. **48 インチデッキにバガーを取り付ける場合** 以下の要領で上排出チューブを切断する
 - A. 上排出チューブの上端部を探す図 27。
- B. チューブの端から 17.8 cm を測り、この位置にマーキングする図 27。
- C. ステップ B で付けたマークに合わせて上排出チューブの周囲にマスキングテープを巻きつける図 27。
- D. テープを目印として、チューブを慎重に切断する切捨てた部分は廃棄する図 27。
8. 以下の要領で下排出チューブに穴を開ける
 - A. 下排出チューブの上端部についている白い点を探し出す。
 - B. このマークの中央にポンチを打ち、ここに直径 6.5 mm の穴を開ける図 28。

注 下端部側にはドリル穴がついているので上下の区別ができます。



G018439

図 28
下排出チューブに穴を開ける

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 白い点 | 4. 上排出チューブ |
| 2. 下排出チューブ | 5. ねじ $1/4 \times 3/4$ インチ |
| 3. 直径 6.5mm の穴 | 6. 上排出チューブの穴 |

C. 上排出チューブの下部についている金具類を外して保管する。

注 上排出チューブの下端部についている穴は、チューブの外周上で等間隔にあけられています。

- D. この穴のうちのひとつを、下排出チューブの上端部につけた穴ステップ B で作った穴に合わせる**図 28**。
- E. 合わせた穴にねじ $1/4 \times 3/4$ インチを差し込んで2本のチューブを相互に仮止めする**図 28**。

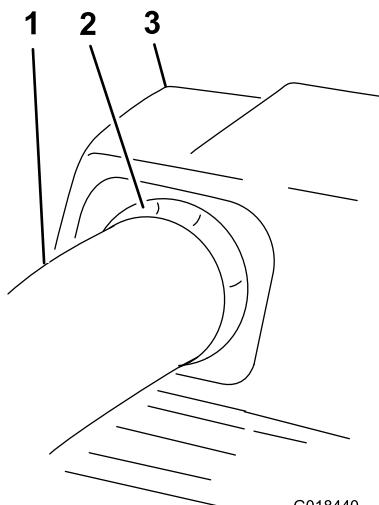
F. 上排出チューブの下端部にある残りの穴に合わせて、下排出チューブの上部にあと2つの穴を開ける**図 28**。

G. 上下の排出チューブを仮止めしていたねじを外す。。

9. 以下の要領で上下の排出チューブを取り付ける

注 刈り込みデッキの刈高が一番低い設定になっていること、およびホッパー・バッグが取り外されていることを確認してください。

- A. 上排出チューブの上端部穴がついていない方をフードのチューブシールに挿入チューブを差し込んでフード内部に当たるまで押し込み、そこからわずかに引き戻してシールが外向きにめくれるようにする**図 29**。

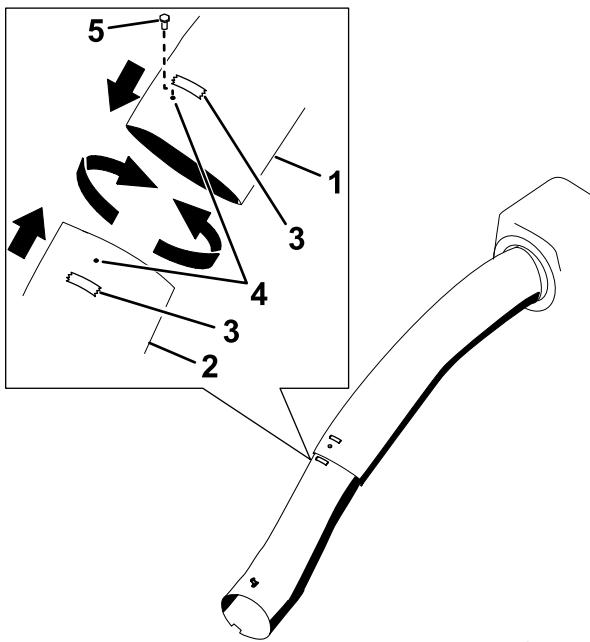


G018440

図 29
上排出チューブとバガーフード

1. 上チューブ
2. ゴム製のシールが外向き
になるように
3. バガーフード

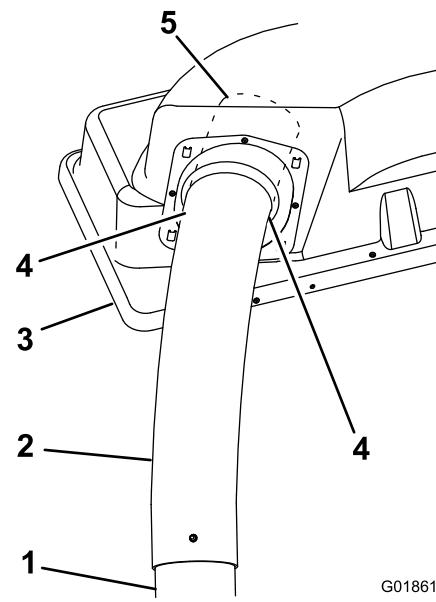
- B. 下排出チューブの下端を、ブロアの排出ポートに合わせる。
- C. 下排出チューブについているノッチを、ブロアの排出ポートの隣にある低い方のラッチに合わせる。
- D. 排出チューブをブロアポストにセットしてラッチをかける。
- E. 上下の排出チューブをそろえて取り付ける**図 30**。



G018442

図 30
穴をそろえてテープでマーキング

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 上排出チューブ | 4. 穴直径 6 mm |
| 2. 下排出チューブ | 5. ねじ 1/4 x 3/4 インチ |
| 3. テープマーキング用 | |



G018611

図 31
上排出チューブとバガーフード

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 下排出チューブ | 4. 出口部のチューブがほぼ水平 |
| 2. 上排出チューブ | 5. 上排出チューブの突き出し側端部 |
| 3. バガーフード | |

E. フードの端部がフードの中心部を向くように上チューブを回して調整する**図 30**。

注 これにより、フードシール部分でのチューブがほぼ水平となります**図 31**。

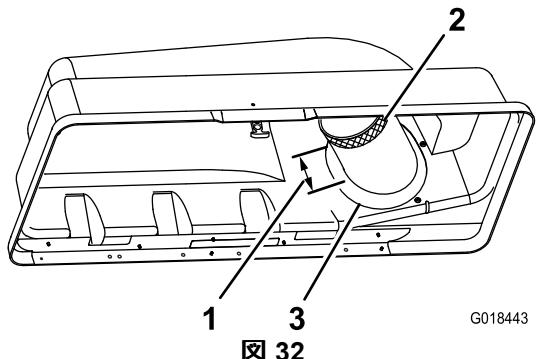
G. 上排出チューブを適切な姿勢に保持しながら、上下のダクトの穴を合わせる**図 30**。

H. 合わせた穴にねじ 1/4 x 3/4 インチを差し込んで2本のチューブを相互に仮止めする**図 30**。

I. 各チューブのねじ位置にテープでマーキングする**図 30**。

注 上排出チューブの測定およびマーキングは、フードを閉じた状態でフードの下側から行ってください。

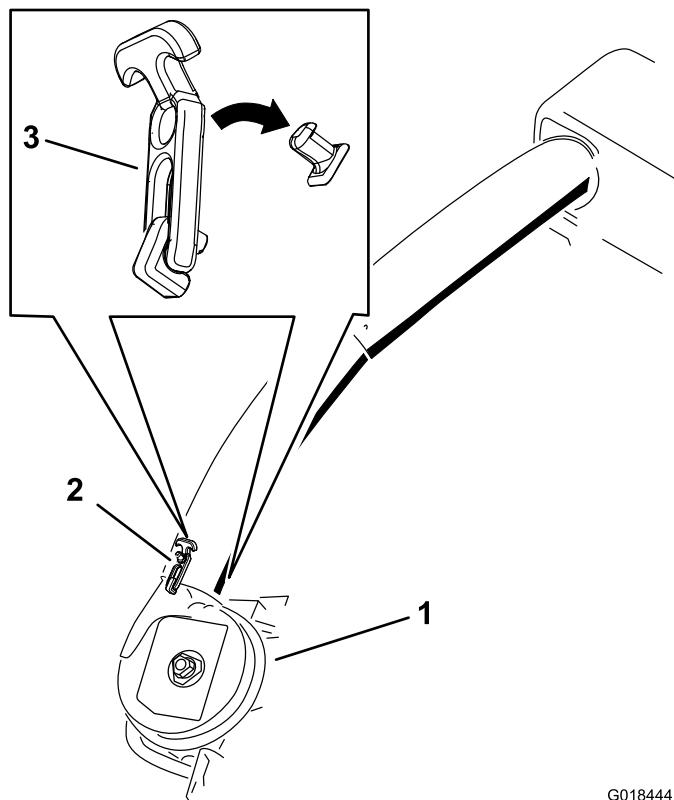
J. 刈り込みデッキを一番低い位置にセットした状態、かつフードを閉じた状態で、フードの下側を観察し、上排出チューブがホッパー内部にどの程度突き出しているかを測定する。この突き出し長さが 7.6 cm を越える場合には、その越える部分を切断除去する**図 33**。



上排出チューブの測定

- 1. 7.6 cm
- 2. 余分な部分
- 3. チューブシール

G018443



G018444

図 33
下排出チューブ用ラッチ

- i. チューブがシールと接触している部分からチューブに沿って 7.6 cm を測り、この位置にマーキングする図 32。
- ii. 上下の排出チューブ同士を揃えているねじを外して上排出チューブをフードおよび下排出チューブから抜き出す。
 - i. ステップ iで付けたマークに合わせて上排出チューブの周囲にマスキングテープを巻きつける図 32。
 - ii. テープを目印として、チューブを慎重に切断する切捨てた部分は廃棄する。
- K. ステップ Iでつけた上下排出チューブの穴のマークを探し出す。
- L. 上下のチューブをつなぎ、テープのマーキングに合わせて穴どうしを揃える図 30。
- M. チューブの全部の穴にねじを通して上下のチューブの接続を固定するねじは $1/4 \times 3/4$ インチ、ロックナットは $1/4$ インチ図 30。
- N. 上排出チューブをチューブシールに通してフード内部に挿入し、チューブがフードの内部に当たるまで押し込む図 29。
- O. その位置からわずかにチューブを引き戻し、シールが外側にめくれるようにする図 29。
- P. 下排出チューブの下端部をプロアの排出ポートにセットし、チューブについているノッチを下側のラッチに合わせ、ラッチで下排出チューブを固定する図 33。

10. フードのラッチを外し、ホッパー袋を取り付け、フードのラッチを掛ける図 18 および図 198 フードアセンブリと袋の取り付け(ページ 15)を参照。

13

ウェイトを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ウェイト取り付けブラケット
2	キャリッジボルト 5/16 x 3/4 インチ
2	フランジナット 5/16 インチ
3	前ウェイト
6	ボルト 3/8 x 1インチ
6	ロックワッシャ
6	平ワッシャ
3	フランジナット 3/8 インチ

手順

ウェイトを取り付けることで ANSI/OPEI B71.4-2012 規格適合となる。

▲ 注意

バガーを取り付けると車両後部が重くなり、条件によっては車体が不安定となって制御できなくなる可能性がある。

1. フットレストの下に、ウェイト取り付けブラケットを取り付けるキャリッジボルト 5/16 x 3/4 インチ 2本とフランジナット 5/16 インチ 2個を使用する。

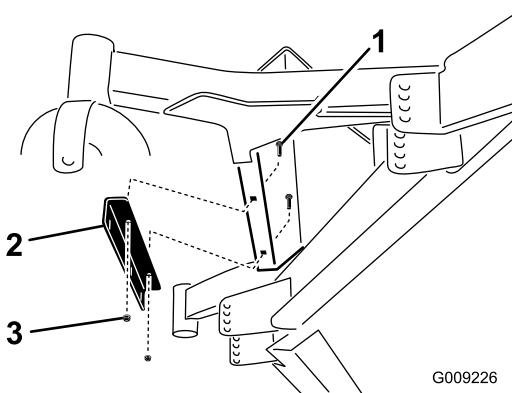


図 34

1. キャリッジボルト 5/16 x 3/4
2. ウェイト取り付けブラケット
3. フランジナット 5/16 インチ
インチ

2. フットレストの上部に前ウェイトを取り付ける図 35。
3. 前ウェイトをフットレスト上部およびウェイト取り付けブラケットに固定するボルト 3/8 x

1 inch 6本、ロックワッシャ6枚、平ワッシャ6枚、フランジナット 3/8 インチ 3枚を使用する図 35。

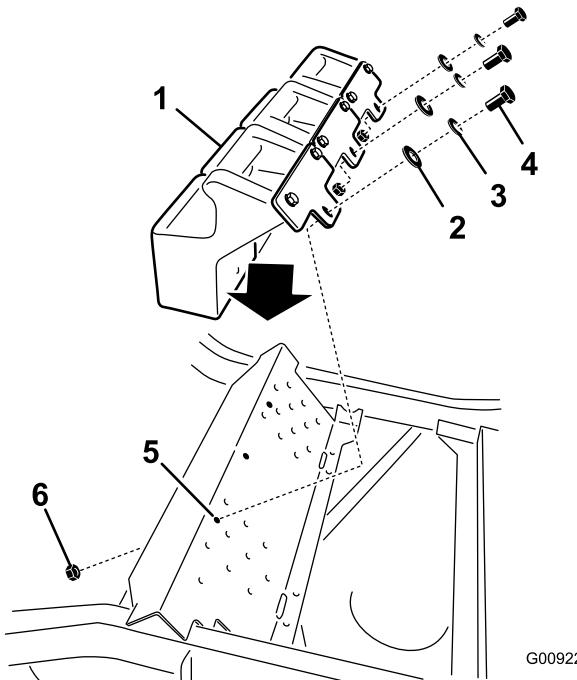


図 35

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 前ウェイト | 4. ボルト 3/8 x 1インチ |
| 2. 平ワッシャ | 5. フットレストの穴 |
| 3. ロックワッシャ | 6. フランジナット 3/8 インチ |

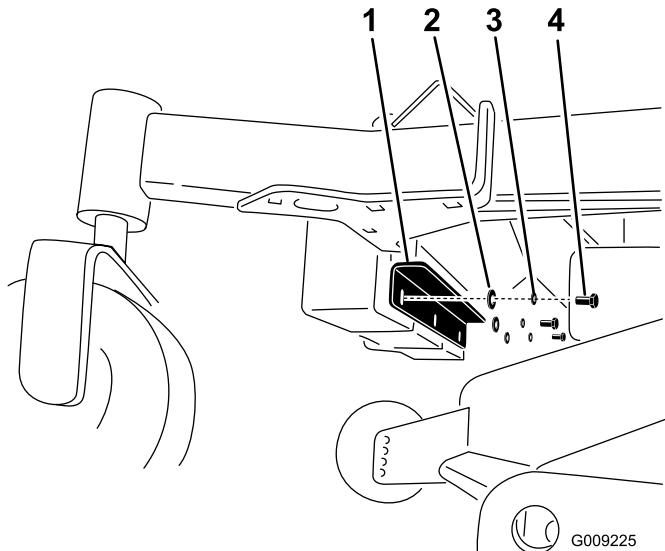


図 36

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. ウェイト取り付けブラケット | 3. ロックワッシャ |
| 2. 平ワッシャ | 4. ボルト 3/8 x 1インチ |

14

タイヤ空気圧を点検する

必要なパーツはありません。

手順

注 ウェイト搭載分を補填するためにタイヤ空気圧を大きくする必要があります。

前キャスタタイヤおよび後タイヤの空気圧を点検し、適正值に調整する図37。

後タイヤの適正空気圧1.4 kg/cm² 21,38 bar

前キャスタホイールの適正空気圧1.75 kg/cm² 172 kPa, 25 psi。

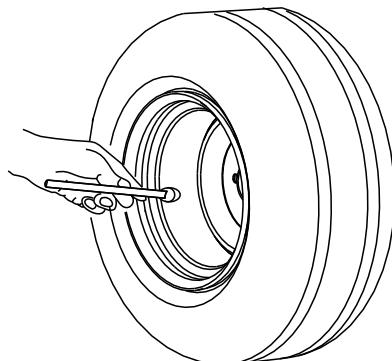


図 37

運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

重要 マシンから離れる時には、たとえ数分間であっても必ず駐車ブレーキをかけてください。

！警告

人身事故や電気系統の破損を防止するために以下の注意を厳守すること

- このアタッチメントを使用する前に、必ず刈り込み装置のオペレーターズマニュアルをよく読み、操作方法と安全上の注意を十分に理解する。
- エンジン作動中には絶対にバガーやバガーチューブを取り外さない。
- バガーが詰まった場合には、かならずエンジンを停止し、機械の可動部がすべて完全に停止してから詰まりの解消作業に掛かる。
- 絶対に、エンジンを掛けたままで整備や修理を行わない。
- 駐車ブレーキを掛ける。

▲警告

デフレクタ、バガーチューブ、あるいはバガーアセンブリを取り付けずに刈り込み作業を行うことは、自分自身や周囲の人間を回転刃やそれに飛ばされてくる異物の危険にさらす危険行為であることを理解する。回転刃に触れたり、回転刃に跳ね飛ばされたものに当たると大けがをしたり最悪の場合には死亡事故となる。

- バガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付け、側方排出モードにこれからマシンを使用する。
- デフレクタが万一破損しているのを発見した場合には直ちに交換すること。デフレクタは刈かすなどの排出方向をターフに向けたための部品である。
- カッティングデッキの下には絶対に手足を差し入れないこと。
- 刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOをOFFにし、エンジンのキーを抜き取る。点火コードを外す。
- シュートが詰まった場合にも、必ずエンジンを停止させてから詰まりの解消を行う。

▲ 注意

置きっぱなしの機械を子供などがいたずらで運転すると大きな事故になる恐れがある。

機械から離れる時には、たとえ数分間であっても必ず駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。

集草バッグにたまつた刈かすを捨てる

刈かすが入った集草バッグは非常に重い。刈かすが入った集草バッグの取り扱いには十分注意すること。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛け、もし法面に駐車している場合にはタイヤに輪止めをかける。
2. バガーラッチを外す。
3. バガーフードを開ける。
4. 刈かすをバッグの中にしっかりと押し込む。
5. 両手を使ってバッグを引っ張り上げバガーブラケットから外す。
6. バッグの下についている取っ手を握り、バッグを上下逆さまにして刈かすを捨てる図38。

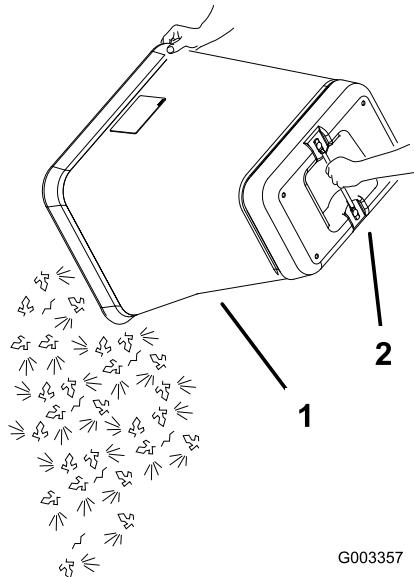


図 38

1. バッグ

2. 下部の取っ手

7. 別のバッグについても同様にステップ5とステップ6を行う。
8. 各バッグのタブをバガーサポートフレームのノッチに掛ける。
9. バガーフードを下ろす。
10. バガーフードにラッチを掛けする。

バガーが詰まった場合の対処

▲ 警告

バガーが作動中はプロアが回転するので、これに手が触れると大けがをする可能性がある。

- プロアの調整、清掃、修理、点検、およびシートの詰まりを取り除く前には、必ずエンジンを停止させ、機械の可動部がすべて完全に停止してから作業に掛かること。キーを抜き取る。
- シートやプロアチューブの詰まりの除去には必ず棒などを使用し、決して素手で行わない。
- 手足や頭や衣服を可動部に近づけないように十分注意し、カバーなどが付いていても過信しない。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキをかける。

2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. バッグを空にする。
4. 下チューブのラッチを外す。
5. バガーチューブを外す。
6. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、シートやプロアチューブ内部の詰まりを除去する。

注ほとんどの場合、軽くつついて揺すると詰まりは解消します。

7. プロアアセンブリが詰まっている場合には、バガーブロアアセンブリのラッチを外してベルトを外してアセンブリを開ける。
8. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、プロアアセンブリ内部の詰まりを除去する。
9. 詰まりが除去できたら、バガーシステムを元通りに組み立て、作業を再開する。

バガーの取り外し

▲ 警告

エンジン停止直後はエンジンの周囲の機器が高温になっている。高温部分に触れると大火傷をする恐れがある。

- 高温時にはエンジンに触れないように注意すること。
- バガーハンドルはエンジンが十分に冷えてから行う。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛け、タイヤに輪止めをかける。

2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. 下側排出チューブのラッチを外し、このチューブをプロアアセンブリから抜き出す。
4. バガーのフードからチューブを外す。
5. 刈り込みデッキを、一番低い刈高に降下させる。
6. デッキベルトカバーのノブを外してベルトカバーを、プーリアセンブリから外す。
7. 刈り込みデッキのプーリアセンブリからバガーベルトを取り外す。
8. プロアアセンブリを開ける。
9. ピボット穴からプロアアセンブリを取り外す。
10. 側方排出モードに変更する場合には、必ずデフレクタを取り付け、デフレクタを排出モードにセットしてからマシンを使用すること。
11. フードバッグアセンブリを取り外す。

デフレクタの使用について

▲ 危険

デフレクタや、排出カバー、または集草アセンブリを確実に取り付けずに使用すると、人がブレードに触れたり、ブレードに跳ね飛ばされたものが人に当たったりするなどして極めて危険である。回転中のブレードに触れたり、跳ね飛ばされた物に当たると、けがをするばかりでなく場合によっては死亡する。

- バガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付け、側方排出モードにしてからマシンを使用する。
- デフレクタが万一破損しているのを発見した場合には直ちに交換すること。デフレクタは刈かすなどの排出方向をターフに向けるための部品である。
- カッティングデッキの下には絶対に手足を差し入れないこと。
- 刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOをOFFにし、エンジンのキーをOFFにして抜き取る。

マシンを移送するとき

移動走行時には必ずバガーを空にしておいてください。

▲ 危険

バガーに刈かすを入れたままで走行すると機体を破損させる恐れがあります。

移動走行時には必ずバガーを空にしておいてください。

ヒント

マシンのサイズ

このアタッチメントを取り付けると、刈り込み機械の長さ、幅、ともに大きくなることを十分認識しておいてください。狭い場所で急な旋回をしたりすると、アタッチメントや周囲の事物を破損させる可能性があります。

トリミング

トリミングは、デッキの左側のみで行ってください。デッキの右側でトリミングすると、バガーを破損させる可能性があります。

刈り込み高さ

最適な条件で集草できるように、デッキの刈高設定はt 5176 mm以上にしないこと、あるいは、一回の刈り取り長さが草丈の1/3以上にならないようにすることどちらか小さい方の条件を採用することをお奨めします。これ以上の刈り取りを行うとバキューム効率が悪くなります。

刈り込み回数頻度

刈り込み作業はあまり日にちをあけずに特に成長期行いましょう。草が伸びすぎてしまった場合には2度に分けて刈り込みを行う必要があります「草丈が長い場合の集草」を参照

刈り込みのテクニック

刈り上がりをきれいに見せるためには、刈幅がすこし重なるようにして刈り込んで行くのがベストです。こうするとエンジンの負担も軽くなり、プロアやチューブが詰まるようなトラブルも少なくなります。

集草速度

刈り込み速度が速すぎるあるいはエンジン速度が遅すぎるとバガーが詰まってしまう可能性があります。法面では、刈り込み速度を少し遅くしたほうが良い結果ができる場合があります。可能な場合は必ず上から下へ向かって刈ってください。

▲ 注意

バガーに刈かすがたまるにつれてマシンの後部が重くなっています。法面で上向きに停止したあとに急発進すると、機体の前部が浮き上がってハンドルが効かなくなる危険があります。

- 法面では急停止・急発進しないでください。登り発進を避けるようにしましょう。
- 上り坂で停止してしまった場合には、PTOを解除してください。そしてそのまま、ゆっくりと、バックで法面を下がってください。
- 法面では速度を変えたり停止したりしないでください。

草丈が長い場合の集草

草が伸びすぎてしまった場合や、芝生がぬれている場合には、通常よりも高い刈高で刈り込みを行って集草してください。そして、次に通常の刈高にセットしてもう一度刈り込み・集草してください。

非常に草丈が高くなると刈かすが非常に重くなり、ブロアの力でバガーに吹き込みできなくなります。こうなるとチューブやブロアが詰まりを起こします。これを避けるためには、まず高めの刈高で一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

草がぬれている場合の集草

できれば、ぬれた芝の集草はやめ、芝が乾いているときに刈り込んでください。ぬれた芝草は詰まりを起こしがちです。

詰まりトラブルを減らすには

これを避けるためには、まず高めの刈高で、刈り込み速度を落として一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

詰まりの兆候を知る

集草しながらの刈り込みでも、デッキの前部から少しの量の刈かすが吹き出してくれるのが普通です。この吹き出し量が多い場合には、集草バッグが一杯であるか、チューブなどが詰まっている可能性があります。

集草ブレード

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお奨めします。乾燥してほこりっぽい条件の場合には、ミディアムリフトまたはローリフトのブ

レードを使うとほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

縁石の乗り越えとトラックなどへの積み込み

縁石の乗り越えやトラックなどへの積み込みを行う場合には、必ずデッキを一番高い位置にセットしてください。デッキを低い位置にセットしたまま縁石の乗り越え等を行うと、デッキを破損する恐れがあります。縁石の高さが15cmを越える場合には、デッキを最高位置にした状態で縁石に対して90度の角度で乗り越えを行ってください。 トラックやトレーラに積み込む場合には十分に注意して作業を行ってください。

保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 8 時間	<ul style="list-style-type: none">プロアベルトを点検する。バガーの点検を行う。
使用することまたは毎日	<ul style="list-style-type: none">フードのスクリーンを清掃する。バガーを清掃する。
25 運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none">プロアベルトを点検する。
50 運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none">アイドラアームのグリスアップを行う
100 運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none">バガーの点検を行う。

整備作業にかかる前に

整備作業にかかる前に、以下の準備を行ってください

1. 平らな場所に駐車する。
2. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
4. 刈り込みデッキをきれいに洗浄し、特に取り付け位置となるデッキ後部に汚れがないようにする。

フードスクリーンの清掃

整備間隔: 使用することまたは毎日

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. バガーフードを開ける。
4. スクリーンについている汚れを除去する。
5. バガーフードを閉じる。

バガーとバッグの清掃

整備間隔: 使用することまたは毎日

1. バガーフード、バッグ、チューブおよび刈り込みデッキの内側および外側を洗浄する。
2. 硬くこびりついている刈かすを十分に除去すること。
3. 洗浄が終わったら各部を十分に乾かす。

注 全部の部品を元通りに取り付けたら、マシンを数分間運転して機体を完全に乾燥させます。

プロアベルトの点検

整備間隔: 使用開始後最初の 8 時間

25 運転時間ごと

ベルトに割れ、縁のはつれ、焼けなどの損傷がないか点検してください。破損したベルトは新しいものに交換してください。

プロアベルトの交換

1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. スプリング付きのアイドラプーリを引っ張つてベルトのテンションを弱める図 39。

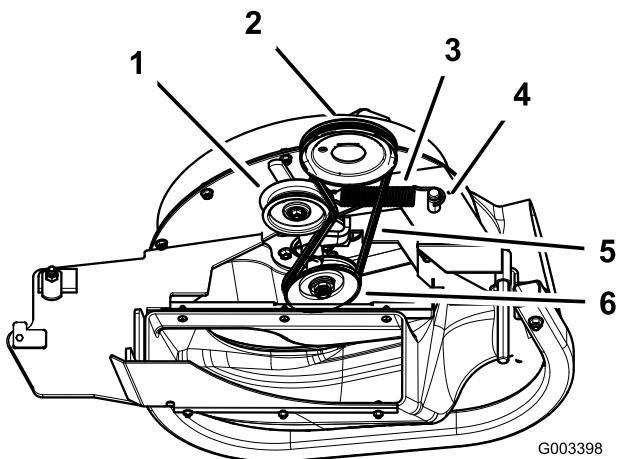


図 39

4. 刈り込みデッキのプーリから古くなったベルトを取り外し、次にプロアプーリからも外す。
5. 新しいベルトをプロアプーリとデッキプーリに掛け回す図 39。
6. スプリングを図 40 のように取り付ける。

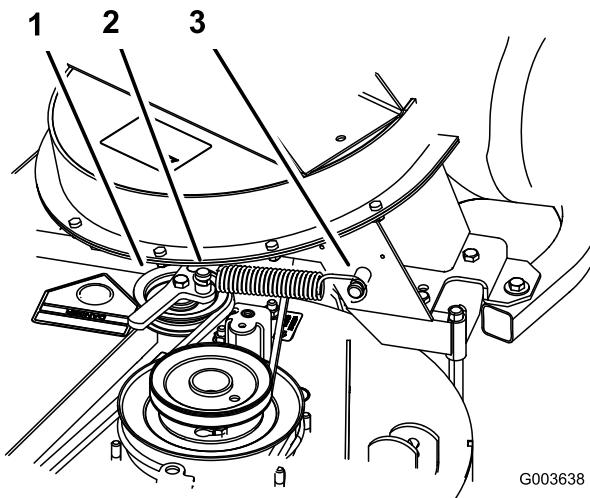


図 40

1. スプリング付きアイドラプー 3. 長い側の端部
2. 短い側の端部
7. スプリング付きのアイドラプーリを引っ張ってベルトのテンションを弱め、ベルトをスプリング付きアイドラプーリに掛ける図 39。.

アイドラーームのグリスアップ

整備間隔: 50運転時間ごと

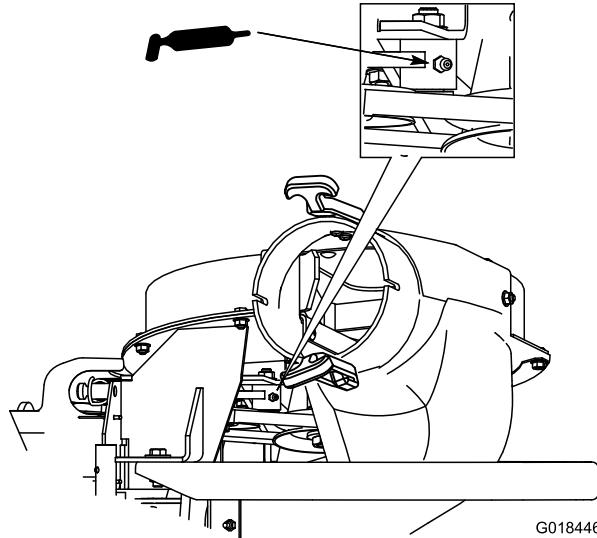


図 41

バガーの点検

整備間隔: 100運転時間ごと

使用開始後最初の 8 時間

1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. 上チューブ、下チューブ、バガーフード、プロアアセンブリを点検する。
注 これらが破れていたり破損していたりしたら交換してください。
4. バッグ、バガーフレーム、スクリーンを点検する。
注 これらが破れていたり破損していたりしたら交換してください。
5. 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。

刈り込みブレードの点検

1. 刈り込みブレードは定期的に点検し、また、異物に当たった場合には直ちに点検する。
2. ブレードがひどく磨耗していたり破損している場合には新しいものに交換する。ブレードの保守の詳細については、マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

刈り込みブレードの選択

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお使いください。乾燥してほこりっぽい条件の場合には、ミディアムリフトまたはローリフトのブレードを使うとほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

詳細については、オペレーターズマニュアルを参照。

デフレクタの交換

▲ 警告

排出口がデフレクタなどで覆われていないと、刈り込みデッキから異物が飛び出して人に当たる恐れがあり、このようなことが実際に起こると深刻な人身事故になりかねない。また、ブレードに触れて大怪我をする可能性もある。

- ・ この芝刈り機は、必ず、カバープレート、マルチプレート、またはデフレクタやバガードを取り付けて運転してください。
- ・ デフレクタが降りた位置になっているのを必ず確認しておくこと。

1. デフレクタをデッキのピボットブラケットに固定しているロックナット、ボルト、スプリング、スペーサを取り外す(図 42)。
破損または古くなっているデフレクタを取り外す。

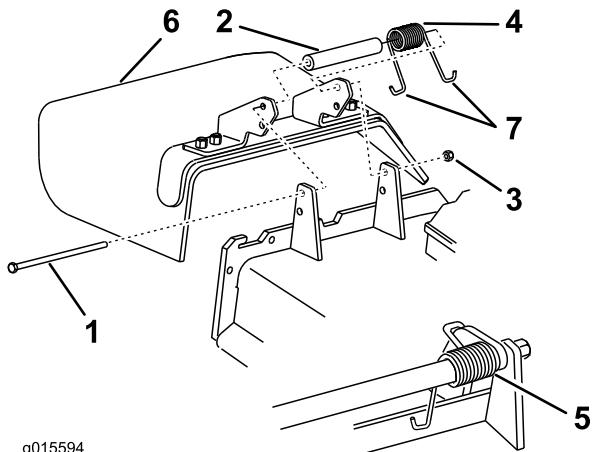


図 42

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. ボルト | 5. スプリングを取り付けた状態 |
| 2. スペーサ | 6. デフレクタ |
| 3. ロックナット | 7. スプリングの J字形フック |
| 4. スプリング | |

2. デフレクタにスペーサとスプリングを取り付ける。J形端部の1つをデッキ後部のエッジに引っ掛ける。

注 必ず、スプリングのJフック端の1つをデッキエッジの後ろに引っ掛け、それからボルトを図42のように取り付けてください。

3. ボルトとナットを取り付ける。J形端部のひとつをデフレクタに引っ掛ける図42。

重要 デフレクタが回転が必要です。デフレクタを手で上位置完全開放位置に持ち上げ、手を離すと自然に下位置になることを確認する。

保管

1. バガー・アタッチメントを洗浄する [バガーとバッグの清掃 \(ページ 30\)](#)を参照。
2. バガー・アタッチメントを点検する [バガーの点検 \(ページ 31\)](#)を参照。
3. バッグが空であること、また完全に乾いていることを確認する。
4. ベルトに磨耗や割れが発生していないか点検する。
5. マシンの格納は、汚れていない乾燥した、直射日光の当たらない場所で行う。屋外で保管しなければならない場合には、防水カバーを掛ける。カバーを掛けることによりプラスチックの寿命を延ばすことができる。

故障探究

問題	考えられる原因	対策
異常に振動する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブレードが曲がっているバランスが悪い。 2. ブレード取り付けボルトがゆるい。 3. プロアのプーリまたはプーリーアセンブリがゆるい。 4. バガーベルトが磨耗している。 5. プロアのファンブレードが曲がっているバランスが悪い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブレードを交換する。 2. 取り付けボルトを締め付ける。 3. プーリを締めつける 4. ベルトを交換する。 5. 代理店に連絡する。
集草性能が悪い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジン速度が遅い。 2. バガーフードのスクリーンが目詰まりしている。 3. バガーベルトがゆるい。 4. チューブまたはプロアが詰まっている。 5. バッグが一杯になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジンは常に全開で使用する。 2. スクリーンを清掃して汚れを除去する。 3. バガーベルトを交換する。 4. 詰まりを除去する。 5. バッグを空にする。
プロアやチューブが何度も詰まる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. バッグが一杯になりすぎるまで使っている。 2. エンジン速度が遅い。 3. 草がぬれています。 4. 草が伸びすぎている。 5. フードのスクリーンが目詰まりしている。 6. 走行速度が速すぎる。 7. バガーベルトが磨耗している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. まめにバッグを空にする。 2. エンジンは常に全開で使用する。 3. 乾いているときに刈り込む。 4. 一回の刈り込みでの刈り取り長さを、51-76 mm または草丈の 1/3 以下どちらか小さい方に制限する。 5. スクリーンを清掃して汚れを除去する。 6. フルスロットルでゆっくり作業する。 7. ベルトを交換する。
ごみが吹き出してくる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. バッグが一杯になりすぎるまで使っている。 2. 走行速度が速すぎる。 3. 刈り込みデッキの水平調整が悪い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. まめにバッグを空にする。 2. フルスロットルでゆっくりした走行速度で作業する。 3. デッキの水平調整についてはオペレーターズマニュアルを参照する。
プロアのインペラが自由に回転しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロアが詰まっている。 2. インペラの心が合っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロアのインペラ部分を清掃して汚れを除去する。 2. 代理店に連絡する。

メモ



Count on it.